実務経験のある教員等による授業科目一覧【**理学療法学科**】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
人文科学Ⅰ	2	松田大輔		
人文科学Ⅱ	2	中林紘二		
自然科学Ⅰ	2	松田大輔		
自然科学Ⅱ	2	中林紘二		
保健体育理論Ⅰ	2	長野史尚		
保健体育理論Ⅱ	2	長野史尚		
外国語	2	谷上弘樹		
解剖学Ⅰ	2	松田大輔	清水圭悟	
解剖学Ⅱ	2	岩田芳典		
生理学Ⅰ	2	今村啓太	中林紘二	
生理学Ⅱ	2	今村啓太		
運動学Ⅰ	2	中島喜代彦		
運動学Ⅱ	2	中島喜代彦		
人間発達学	2	松田大輔		
臨床心理学	2	手嶋雄太		
病理学	2	今村啓太		
基礎栄養学	1	永野忍		
基礎薬理学	1	永野忍		
整形外科学Ⅰ	2	岩田芳典		
整形外科学Ⅱ	2	岩田芳典		
神経内科学Ⅰ	2	中山大貴		
神経内科学Ⅱ	2	中山大貴		
内科学	1	野口敦		
老年医学	1	永野忍		
小児科学	1	松田大輔		
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学	1	谷上弘樹		
精神医学	1	手嶋雄太		
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ概論	2	谷上弘樹		
保健医療福祉制度論	2	籾井剛士		
理学療法概論Ⅰ	2	今村啓太		
理学療法概論Ⅱ	2	中山大貴		
臨床運動学	2	松田大輔		
理学療法管理学	2	永野忍		
理学療法評価法Ⅰ	2	今村啓太	野口敦	
理学療法評価法Ⅱ	2	清水圭悟	野口敦	
日常生活活動	2	永野忍		
運動療法Ⅰ	2	清水圭悟	野口敦	綿谷昌明
運動療法Ⅱ	2	清水圭悟	野口敦	
物理療法	2	岩田芳典		
義肢装具学	2	遠藤正英		

各論理学療法Ⅰ	1	中山大貴		
各論理学療法Ⅱ	1	中山大貴		
各論理学療法Ⅲ	1	近藤直樹	阿部光司	東周平
		進貴臣		
各論理学療法Ⅳ	1	森口晃一		
各論理学療法Ⅴ	1	森口晃一		
各論理学療法Ⅵ	1	松田大輔		
各論理学療法Ⅶ	1	今村啓太		
各論理学療法Ⅷ	1	谷上弘樹	大渡凡人	
各論理学療法Ⅸ	1	谷上弘樹		
総合理学療法	4	永野忍		
基礎医学演習	2	中山大貴		
臨床医学演習	2	中山大貴		
基礎理学療法演習	2	中山大貴		
臨床理学療法演習	2	中山大貴		
スポーツリハビリテーション	1	宮薗彩香		
地域理学療法学	2	籾井剛士		
生活環境論	1	永野忍		
見学実習	1	松田大輔		
評価実習	4	今村啓太		
総合臨床実習	18	中山大貴		
合計	**121**			

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	人文科学Ⅰ					担当者名		井浦　ひとみ、松田　大輔			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	前半は社会人としての「仕事の取組み・ビジネスマナー・就業のマナー」について勉強します。後半は「自己紹介と自己ＰＲ」,「学生個人資料」を発表することや、ジャーナルを閲覧し、文章の構成内容を考え、グループワークすることで,これからの学生生活に必要な「考え・書く・意見を述べる」ことについて学びます。
成績評価	授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，定期試験（後半は除外），出席率などによって総合的に評価する。
その他	井浦：無　松田：有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	なし		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	第１章　キャリアと豊かな仕事生活 １－１　働くということ（プリント１枚）
2	１－２　仕事への取り組み方　第２章　ビジネスマナーの基本２－１ ビジネスマナーは社会人としての基本（プリント１枚）
3	２－１　ビジネスマナーは社会人としての基本③より ２－２　職場でのコミュニケーション
4	第３章　就業のマナー　　３－１　出社から退社まで　２－３　円滑なコミュニケーションのために２－４ 社会人としての身だしなみ（プリント1枚）
5	第１章・第２章　模擬テスト　第３章　就業マナー ３－２　仕事中の態度や行動（プリント１枚）
6	３－３　感じのよいあいさつ ３－４　おじぎの基本とお客様との接し方（プリント１枚）
7	第３章　模擬テスト　第９章　来客応対と面談の基本マナー ９－２　出迎えから見送りまで　　９－４　名刺交換と紹介　（プリント１枚）
8	９－４　名刺交換と紹介　第１０章　訪問のマナー１０－３　取引先とのつきあい　　１０－４　仕事関係とのつきあい　（プリント１枚）
9	1.「自己紹介」と「自己ＰＲ」を書く
10	2. グループワーク（自己紹介と自己ＰＲ）の発表
11	3.「学生個人資料」の作成
12	4. グループワーク「学生個人資料」の発表
13	5. ジャーナル（雑誌）の閲覧と発表準備（グループワーク）
14	6. ジャーナル（雑誌）閲覧後の全体グループ発表
15	7. ケースレポートについて　　まとめ　感想文を書きましょう

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	人文科学Ⅱ					担当者名		中林　紘二			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	Officeの主要3ソフト（Word・Excel・PowerPoint）を学習する。特に、理学療法業務で頻繁に使うことになるであろう基本的な機能・使い方を中心に解説する。また、練習問題などを用いて、学習内容を復習することで、操作方法を確実にマスターする。
成績評価	課題の提出状況、期末試験の成績にて評価を行う。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	特になし		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション　Wordの概要　文字の入力
2	Word　文章の作成
3	Word　表の作成
4	Word　表現力の向上
5	Excel　データ入力
6	Excel 表の作成
7	Excel　グラフの作成
8	Excel 複数シートの操作
9	Powerpoint　基本的なプレゼンテーションの作成
10	Powerpoint　表の作成
11	Powerpoint　グラフの作成
12	Powerpoint　図形、SmartArt、画像、ワードアート
13	Powerpoint　特殊効果
14	発表資料作成
15	発表

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	自然科学Ⅰ					担当者名		松田　大輔			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	理学療法の専門科目を学習する上で有用な基礎学力の習得を目標に，人体作用に物理学的の内容を講義する。また自然科学的な現象から物理的な見方を授業する。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	特になし(教員が資料を作成し配布します)		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	時間と空間、身体運動の面と軸、運動学的分析、筋の活動張力
2	重力、筋と重力の働き、ベクトル、力の合成と分解、力のつり合い、作用反作用の法則
3	電流、電圧、抵抗、電力、オームの法則、直流と交流、電波
4	波、波の重ね合わせの原理、波の干渉、音波、音の三要素、音の速さ、ドップラー効果
5	光、光の速さ、光と音の違い、光の反射、光の散乱、太陽の色が異なる理由
6	レンズと光、焦点、眼球の外膜、屈折と調節、水晶体での遠近調節、目でピントが合う範囲
7	遠くを見る眼と近くを見る眼、近視と近視の矯正、遠視と遠視の矯正、老視
8	浮力、摩擦力、関節の構造、剛体、力のモーメント、剛体に働く力のつり合い、てこの原理、重心
9	ヒトの重心、重心線、立位姿勢の安定性、安定性に関わる要因
10	運動の法則、運動の第2法則、運動に関する3つの法則、エネルギー
11	エネルギー代謝、カーボローディング、クレアチンリン酸系、解糖系、好気的代謝系、骨格筋の運動エネルギー
12	熱エネルギー、温度と熱、熱量保存の法則、熱と分子運動、熱の移動と物質の温度変化、物質の熱特性、比熱、熱容量、熱伝導率
13	細胞、原核細胞と真核細胞の違い、細菌とウイルスの違い、細胞の基本構造
14	三角関数
15	三角関数練習問題

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	自然科学Ⅱ					担当者名		中林　紘二			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	理学療法士として必要な統計学の基礎を、さまざまなデータを用いて学ぶ。また、専門書や論文に示されたデータを用いて、そのデータが示す意味が読み取れるようになる。実際の研究論文から、その作成の手順や考え方を学ぶ。
成績評価	出席状況・講義への参加意欲・定期試験を総合的に判断する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	特になし		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	①オリエンテーション　②科学的な理学療法とは
2	研究の種類について（縦断研究、横断研究）
3	エビデンスレベル・ガイドラインの活用について
4	統計の基礎（母集団、平均、分散）
5	統計の基礎（標準偏差、信頼区間）
6	統計の基礎（相関）
7	統計学的研究手法・検定方法について（平均の差の検定；t検定、分散分析）
8	統計学的研究手法・検定方法について（相関分析、重回帰分析）
9	感度、特異度、陽性尤度比について
10	統計学の用語について（バイアス、効果量）
11	統計学の用語について（第１種の過誤、第２種の過誤、帰無仮説）
12	論文の検索方法、論文からエビデンスを得る（信頼区間、オッズ比、リスク比の判定方法）
13	国家試験過去問題で出題される統計について
14	グループ学習
15	まとめ

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	保健体育理論Ⅰ					担当者名		長野　史尚			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。 適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。
成績評価	小テスト、授業態度、出席（減点法）などを総合的に評価する。
その他	本講義は生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格取得を目指す。有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	生涯スポーツトレーナー教本	水嶋昭彦 中尾繁樹 油谷信隆監修	学）国際学園
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1）合同授業（生涯スポーツトレーナーとは）　【水嶋理事長】，（スポーツトレーナー）【出水先生】，（目標達成）【ナカソネ先生】　4月25日
2	1）ガイダンス，２）生涯スポーツトレーナーについて，３）0-100プロジェクトについて　4月25日
3	1）e-learning「スポーツ」「運動」の必要性（7分），ファンクショナルトレーニングとは（14分），正しい姿勢とプランク(24分)
4	1）e-learning基礎動作の重要性(11分)，上肢の動きについて(13分)，下肢の動きについて(15分)
5	1）e-learning全身を連動させた回旋運動について(16分)，プログラミングの重要性について(12分)
6	1）e-learning運動指導におけるコーチングについて(31分)，2）スポーツコーチングについて
7	1）e-learning骨の役割(4分),骨の構造(9分),筋の分類(3分),骨格筋について(6分),筋収縮のメカニズム①②(8分)(6分)
8	1）e-learning，人体の区分と名称（6分），身体の方向をあらわす用語（16分），代表的な関節運動（15分），脊柱（14分）
9	1）e-learning子ども、高齢者運動指導の基礎知識(22分)，高齢者の運動指導(23分)，児童期の運動指導(17分)
10	1）e-learning医療行為と医療類似行為(11分)，禁止事項(11分)
11	合同授業（Ｔボール）　1/4　6月7日
12	合同授業（Ｔボール）　2/4　6月7日
13	合同授業（Ｔボール）　3/4　6月7日
14	合同授業（Ｔボール）　4/4　6月7日
15	まとめ

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	保健体育理論Ⅱ					担当者名	長野　史尚				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これからの健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本授業は主に実技指導を中心に行う。
成績評価	小テスト、授業態度を総合的に評価する
その他	本講義は生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格取得を目指す。有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	生涯ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾅｰ教本　背骨ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ　世界一わかりやすいﾊﾟｰｿﾅﾙｽﾄﾚｯﾁ 背骨ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞﾊﾟｰｿﾅﾙﾄ		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	ガイダンス（受講上の注意等）、生涯スポーツトレーナーアドバンスについて
2	合同授業（背骨コンディショニング）　【日野先生】 1/2　10月10日
3	合同授業（背骨コンディショニング）　【日野先生】 2/2　10月10日
4	合同授業（超音波）　【清水先生】 1/2　10月10日
5	合同授業（超音波）　【清水先生】 2/2　10月10日
6	合同授業（パーソナルストレッチ）　【牧谷先生】 1/2　10月11日
7	合同授業（パーソナルストレッチ）　【牧谷先生】 2/2　10月11日
8	合同授業（発育発達と不器用さ）　【中尾先生】 1/2　10月11日
9	合同授業（発育発達と不器用さ）　【中尾先生】 2/2　10月11日
10	合同授業（高齢者と子どもの運動指導）　【油谷先生】 1/2　10月18日
11	合同授業（高齢者と子どもの運動指導）　【油谷先生】 2/2　10月18日
12	合同授業（ダンス）　【藤本先生】 1/2　10月18日
13	合同授業（ダンス）　【藤本先生】 2/2　10月18日
14	合同授業（ファンクショナルトレーニング）【岩澤先生】 1/2　11月1日
15	合同授業（ファンクショナルトレーニング）【岩澤先生】 2/2　11月1日

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	外国語					担当者名		谷上　弘樹			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	リハビリテーション領域で主に用いられる英単語を理解と生活活動での英文（one point）に関心を持ちながら、英語力を身につける。
成績評価	試験により評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	PT・OTが書いた リハビリテーション英会話	三木 貴弘著	MEDICAL　VIEW
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	人体の部位
2	人体の方向・人体の面
3	骨格（上肢）の名称
4	骨格（下肢）の名称
5	骨格（脊椎・胸郭）の名称
6	関節の名称（上肢）
7	関節の名称（下肢）
8	関節可動域運動の専門的な表現と一般的な表現（上肢）
9	関節可動域運動の専門的な表現と一般的な表現（下肢）
10	関節可動域運動の専門的な表現と一般的な表現（体幹）
11	体位（姿勢）の表現
12	歩行動作の表現
13	リハビリテーション機器の表現　1)　2)
14	リハビリテーション機器の表現　3)　4)　5)
15	主な骨格筋（前面）の名称　　主な骨格筋（後面）の名称

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学Ⅰ					担当者名		松田　大輔、清水　圭悟			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						60					

授業概要	ヒトの働きと構造を総合的・体系的に理解させるため，人間も含めた生物体の構造を細胞レベル，組織，器官さらには系統レベルで進める。また生命現象を理解するための考え方，基本的学術用語とヒトについて理解を深める。ヒトの身体の仕組みと，これがどのようにして働いているかを論述する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	プロメテウス解剖学コアアトラス　第3版	坂井　建雄監訳	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	総論 1.解剖学とは　2.人体の外形と部位　3.体の方向用語　（松田 4月 13日）
2	総論 4.男女の差　5.体腔　6.体部の形態に関する名称　（清水 4月 14日）
3	骨格系（総論）1. 骨の働き　2. 骨の形状　（松田 4月 20日）
4	総論 7.細胞と組織（清水 4月 21日）
5	骨格系（総論）3. 骨の構成　4. 骨の連結　5. 関節の分類（松田 4月 27日）
6	総論 7.細胞と組織（清水 4月 28日）
7	骨格系（総論）6. 関節運動の方向づけ　7.　関節可動域（松田 5月 11日）
8	総論 8.器官と器官系　9.発生とは　10.胚葉の分化（清水 5月 12日）
9	骨格系（頭蓋骨）1. 頭頂部　2. 後頭部骨格系　3. 側頭部　4. 前頭部と顔面部　5. 内頭蓋底　6. 内頭蓋底（松田 5月 18日）
10	筋系（総論）1. 骨格筋の構造　2. 腱（清水 5月 19日）
11	骨格系（頭蓋骨）7.舌骨　8.下顎骨（松田 5月 25日）
12	筋系（各論）1. 背部筋　2. 頭部の筋（清水 5月 26日）
13	骨格系（椎骨）1. 真椎の一般構成　2. 頸椎（松田 6月 1日）
14	筋系（総論）3. 頚部の筋　4. 胸部の筋（清水 6月 2日）
15	骨格系（椎骨）3. 胸椎　5. 腰椎（松田 6月 8日）
16	【中間試験】筋系（総論）5. 横隔膜　6. 腹部の筋　（清水 6月 9日）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	解剖学Ⅰ					担当者名		松田　大輔、清水　圭悟			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						60					

回数	授　業　計　画
17	骨格系（胸郭）1. 胸骨　2. 肋骨（松田 6月 15日）
18	筋系（総論）7. 上肢の筋（清水 6月 16日）
19	骨格系（上肢）1. 肩甲骨　2. 鎖骨（松田 6月 22日）
20	（総論）8. 下肢の筋（清水 6月 23日）
21	骨格系（上肢）3. 上腕骨　4. 尺骨　5. 橈骨　（松田 6月 29日）
22	感覚器系　1.　感覚器とは　2.　皮膚（清水 6月 30日）
23	骨格系（上肢）6. 手の骨　7. 自由上肢の連結　（松田 7月 6日）
24	感覚器系　3.　視覚器（清水 7月 7日）
25	骨格系（下肢）1. 寛骨　2. 大腿骨　（松田 7月 13日）
26	感覚器系　4.　平衡聴覚器　（清水 7月 14日）
27	骨格系（下肢）3. 膝蓋骨　4. 脛骨　5. 腓骨　（松田 7月 20日）
28	感覚器系　5.　嗅覚器　（清水 7月 21日）
29	骨格系（下肢）7.自由下肢の連結　8.足の変形（松田 7月 27日）
30	感覚器系　6.　味覚器　（清水 7月 28日）

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学Ⅱ					担当者名	岩田　芳典				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							60				

授業概要	人体標本と触診やデッサンによって内臓器系他の構造や位置関係を確認し、理学療法の学問構想に関連づけて学習する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	プロメテウス解剖学コアアトラス　第3版	坂井　建雄監訳	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	循環系（総論）1.　循環（大循環／小循環）2.　血管の構造3.　動脈　4.　静脈　5.　毛細血管　6.　特殊な血管　7.　毛細血管のはたらき
2	循環系（心臓）1. 外観・位置　2.心臓の内腔　3. 心臓の弁装置　4. 心臓壁の構成
3	循環系（心臓）5. 刺激伝導系　6. 心臓の神経支配　7. 心臓周期・心音）　8. 胎児循環の特徴　9. 先天性心疾患
4	循環系（体循環・肺循環）　1.　循環器系　2. 小循環（肺循環）　3. 大循環（体循環）
5	循環系（リンパ）1. 毛細リンパ管　2. リンパ管　3. リンパ組織とリンパ器官
6	消化器系（総論）1. 消化器の一般構造　2. 消化管に分布する神経
7	消化器系（各論1）1. 口腔　2. 咽頭　3. 扁桃輪　4. 食道　5. 胃　6. 小腸
8	消化器系（各論1）7. 大腸　8.直腸　　9.排便メカニズム
9	消化器系（各論2）1.　膵臓　2. 胆嚢　3.　胆道　4.　肝臓
10	消化器系（各論2）5.　腹膜　　6.　腹膜後器官　7.栄養素とその働き
11	呼吸器系　1.鼻　2.咽頭　3.喉頭　4.気管と気管支　5. 肺
12	呼吸器系　6. 胸膜　7. 縦隔
13	泌尿器系 1. 腎臓の位置と形状 2.　腎臓の実質 3.　腎臓の構造
14	泌尿器系　4.　尿生成のしくみ　5.　尿管 6.　膀胱　7.　尿道
15	泌尿器系 8. 排泄について【中間試験】
16	内分泌器系　1.内分泌とは　2. ホルモンと標的器官　3. 内分泌腺の種類1）視床下部2）下垂体

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	解剖学Ⅱ					担当者名	岩田　芳典				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							60				

回数	授　業　計　画
17	内分泌器系　3）松果体　4）甲状腺　5）上皮小体（副甲状腺）　6）胸腺　7）副腎
18	内分泌器系　8）膵島（ランゲルハンス島）9）内分泌腺としての腎臓　10）消化管ホルモン　11）心房性ナトリウム利尿ペプチド
19	内分泌器系　12）前立腺　13）性腺　10.内分泌疾患
20	中枢神経系　1）神経の構造と発生　2）大脳
21	中枢神経系　3）脳幹　4）小脳
22	中枢神経系　5）背髄　6）脳室
23	中枢神経系　7）上行性伝導路
24	中枢神経系　8）下行性伝導路
25	中枢神経系　9）高次脳機能
26	末梢神経系　1）頚神経叢と腕神経叢　2）上肢の神経と筋支配
27	末梢神経系　1）腰神経叢と仙骨神経叢　2）下肢の神経と筋支配
28	末梢神経系　1）脳神経①
29	末梢神経系　1）脳神経②
30	末梢神経系　2）自律神経系

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学Ⅰ					担当者名		今村　啓太、中林　紘二			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						60					

授業概要	ヒトが生活する中で生物機能（生体の機能）が発揮される仕組みを理解する。
成績評価	出席状況・講義への参加意欲・定期試験を総合的に判断する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準生理学	小澤瀞司監修	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション　生理学の概要　4/13(月)　4限目　中林
2	大脳の統合機能　4/17(金)　3限目　中林
3	大脳皮質の機能局在　4/20(月)　4限目　中林
4	循環系の基本的性質　4/24(金)　3限目　中林
5	血液循環　4/27(月)　4限目　中林
6	心臓の働き　5/1(金)　3限目　中林
7	腎臓生理学の基礎　5/8(金)　3限目　中林
8	糸球体濾過と腎循環、有機物質の尿細管再吸収と分泌　5/11(月)　4限目　中林
9	体液量調節、酸塩基輸送と調節　5/15(金)　3限目　中林
10	浸透圧　膜興奮性とイオンチャネル　5/18(月)　4限目　中林
11	細胞・生体とその環境　5/22(金)　3限目　中林
12	細胞の微細構造と機能　5/25(月)　4限目　中林
13	神経細胞学　神経回路機能　5/29(金)　3限目　中林
14	興奮の伝達　自律神経系　6/1(月)　4限目　中林
15	筋肉とその収縮　6/5(金)　3限目　中林
16	筋と運動ニューロン　6/8(月)　4限目　今村

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	生理学Ⅰ					担当者名		今村　啓太、中林　紘二			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						60					

回数	授　業　計　画
17	大脳皮質運動野　6/12(金)　3限目　今村
18	大脳基底核　6/15(月)　4限目　今村
19	平衡感覚　6/19(金)　3限目　今村
20	小脳　発声と構音　6/22(月)　4限目　今村
21	運動と体力　6/26(金)　3限目　今村
22	エネルギー代謝　6/29(月)　4限目　今村
23	消化と吸収の一般原理、食物の摂取と輸送　7/3(金)　3限目　今村
24	胃、肝・胆および膵外分泌系　7/6(月)　4限目　今村
25	小腸、大腸　7/10(金)　3限目　今村
26	栄養素などの消化と吸収　7/13(月)　4限目　今村
27	学習内容の復習　グループディスカッション　7/16(金)　3限目　今村
28	学習内容の復習　グループディスカッション　7/20(月)　4限目　今村
29	国家試験過去問題のグループ共有　生理学Ⅰの総復習　7/27(月)　4限目　今村
30	国家試験過去問題のグループ共有　生理学Ⅰの総復習　7/31(金)　3限目　今村

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学Ⅱ					担当者名		今村　啓太			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							60				

授業概要	ヒトが生活する中で生物機能（生体の機能）が発揮される仕組みを理解する。
成績評価	出席状況・講義への参加意欲・定期試験を総合的に判断する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準生理学	小澤瀞司監修	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	呼吸生理学の基礎、肺の換気①
2	肺循環
3	呼吸生理学の基礎、肺の換気②
4	肺の換気
5	肺循環とガス交換
6	血液ガスの運搬
7	酸塩基平衡の基本概念
8	呼吸の調節、呼吸の適応と病態
9	血液の組成と性状
10	血液細胞の産生
11	赤血球、鉄の代謝
12	白血球
13	免疫反応と炎症
14	血小板と血液凝固機能、血液型
15	内分泌総論
16	内分泌各論①

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　　PT学科

授業科目名	生理学Ⅱ					担当者名		今村　啓太			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							60				

回数	授　業　計　画
17	内分泌各論②
18	体温とその調節、概日リズム
19	脳幹
20	脊髄
21	感覚機能総論
22	聴覚
23	視覚
24	味覚と嗅覚
25	環境因子と発達・成長・加齢
26	本能的欲求に基づく動機づけ行動
27	学習内容の復習　グループディスカッション①
28	学習内容の復習　グループディスカッション②
29	国家試験過去問題のグループ共有　生理学Ⅱの総復習
30	国家試験過去問題の確認・学習

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	運動学Ⅰ					担当者名		中島　喜代彦			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						60					

授業概要	⑴骨・筋・関節の構造と機能を理解する　⑵骨や筋の名称およびその役割を理解する　⑶生体力学からみた関節運動を理解する　⑷脊髄レベルの神経と筋の関連を理解する　⑸歩行ならびに姿勢制御の概要を理解する
成績評価	中間試験および期末試験の結果をもとに総合的に評価する
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	プロメテウス解剖学コアアトラス　第3版	坂井健雄 監訳	医学書院
参考図書	PT・OTのための運動学ノート/基礎運動学　第6版補訂	中島喜代彦、中島雅美/中村隆一	医歯薬出版

回数	授　業　計　画
1	総論：⑴運動学とは　⑵身体に働く種々の力　⑶人体の区分　⑷身体の面と軸
2	⑸骨および関節の名称：骨標本使用　⑹関節の運動方向
3	骨学総論：⑴骨の形態　⑵骨の基本構造
4	関節総論：⑴関節の分類とその特徴　⑵滑膜性関節の構造と構成体
5	骨学各論：⑴脊柱
6	骨学各論：⑴胸郭　⑵頭蓋
7	骨学各論：⑴肩甲帯　⑵上肢骨
8	骨学各論：⑴骨盤帯　⑵下肢骨
9	骨の指標に関する触察実習：Tシャツおよび短パンの服装
10	筋学総論：⑴筋の形状　⑵骨格筋の構造　⑶骨格筋の収縮機序
11	筋学総論：⑴筋と支配神経　⑵筋の起始と停止　⑶筋収縮様態
12	筋学各論：肩甲帯から肩関節
13	筋学各論：肘関節から手指
14	筋学各論：骨盤帯から股関節及び膝関節
15	筋学各論：足関節から足趾
16	筋学各論：体幹筋

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	運動学Ⅰ					担当者名		中島　喜代彦			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						60					

回数	授　業　計　画
17	筋学各論：頭部・顔面筋
18	まとめと中間試験
19	生体力学の基礎：⑴変位・速度・加速度　⑵ベクトル：綱引き　⑶力の合成
20	生体力学の基礎：⑴運動の法則　⑵モーメント
21	生体力学の基礎：⑴仕事とエネルギー　⑵身体とテコ
22	生体力学の基礎：関節の安定性と運動性
23	生体の構造と機能：⑴細胞膜の興奮　⑵活動電位　⑶神経線維の興奮伝導
24	生体の構造と機能：⑴筋線維の種類　⑵神経筋接合部と神経筋伝達
25	生体の構造と機能：⑴運動単位と神経支配比　⑵運動単位と張力　⑶筋張力と筋長
26	生体の構造と機能：⑴筋の働き・・屈筋とか動筋とか　⑵筋肥大と萎縮
27	運動の中枢神経機構：⑴随意運動と反射運動　⑵伸張反射　⑶相反神経機構　⑷自己抑制
28	歩行：⑴歩行周期　⑵歩行の重心移動
29	歩行：⑴下肢の各関節角度変化　⑵歩行時の筋電図
30	姿勢：⑴重心　⑵姿勢制御・・・視覚系・前庭系・体性感覚系⇒感覚あっての運動

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	運動学Ⅱ					担当者名	中島　喜代彦				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							60				

授業概要	(1) 各関節の構造と機能について説明ができる. (2) 各関節の安定性と運動性について説明ができる.
成績評価	中間試験および期末試験の結果をもとに総合的に評価する
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	運動器の機能解剖　上肢・脊柱編/下肢編	J.Castaing,J.J.Santini 共著	協同医書
参考図書	基礎運動学　第6版補訂/PT・OTのための運動学ノート	中村隆一/中島喜代彦、中島雅美	医歯薬出版

回数	授　業　計　画
1	肩関節複合体：⑴基本概念　⑵機能的肢位　⑶肩の運動の定義と運動域
2	肩甲上腕機構：⑴肩甲上腕関節の構造　⑵腱板の安定化作用　⑶三角筋と棘上筋の共同作用
3	肩甲上腕機構：⑷肩の第２関節　⑸運動筋　⑹可動域
4	肩甲胸郭機構：⑴胸郭上を動く肩甲骨　⑵胸鎖関節　⑶肩鎖関節　⑷肩の２大機構による自動運動
5	肘関節：⑴基本概念　⑵腕釈関節　⑶腕橈関節　⑷関節包と靭帯　⑸関節の運動と可動域　⑹運動筋
6	前腕：⑴基本概念　⑵回内・回外機構の分析　⑶回内・回外機構の他動的要素　⑷回内・回外運動軸と運動筋
7	前腕：⑴日常生活活動における回内・回外　手関節：⑴基本概念　⑵関節形態と靭帯　⑶動きと筋
8	手指：⑴基本概念　⑵解剖学的名称　⑶関節形態と靭帯
9	手指：⑷運動の定義と可動域　⑸外来筋と内在筋の関係　⑹腱鞘　⑺屈筋機構と伸展機構の概略
10	手指：⑻伸展機構による指の伸展　⑼支靭帯による連動作用　⑽解放された指　⑾虫様筋　⑿爪の役割
11	脊柱：⑴基本概念　⑵椎骨の基本形態　⑶椎骨の部位別形態
12	脊柱：⑷脊椎の機能的単位　⑸椎間板ー椎体複合体　⑹椎骨の誘導要素
13	脊柱：⑺椎骨の制動要素　⑻脊柱の運動筋と安定筋
14	脊柱：⑼脊柱の彎曲の成り立ち　⑽脊柱の可動性
15	脊柱：⑾脊柱に加わる力　⑿脊柱管と椎間孔　⒁椎体の血管分布　⒂脊柱の退化
16	まとめと中間試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	運動学Ⅱ					担当者名		中島　喜代彦			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							60				

回数	授　業　計　画
17	股関節：⑴基本概念　⑵関節形態と関節唇　⑶関節包と靭帯　⑷股関節の運動
18	股関節：⑸新生児の股関節　⑹姿勢・筋力・立位が股関節構造の発達に及ぼす影響
19	股関節：⑺成人の股関節の形態　⑻股関節の運動筋　⑼パウエルの理論
20	股関節：⑽Trendelenburg現象とDuchenne現象　⑾内反股と外反股　⑿股関節の退化
21	膝関節：⑴基本概念　⑵運動の定義と可動域　⑶軸回旋の測定　⑷側方動揺の測定　⑸引き出し運動　⑹膝の軸
22	膝関節：⑺大腿脛骨関節の形態　⑻転がりと滑り運動
23	膝関節：⑼屈伸運動時の顆部の動きと接点移動の違い
24	膝関節：⑽屈伸運動時の靭帯の緊張　⑾膝の自動回旋
25	膝関節：⑿半月板　⒀半月板の移動　⒁膝蓋大腿関節と伸展機構
26	膝関節：⒂膝の運動筋　⒃大腿四頭筋　⒄鵞足筋　⒅関節腔
27	膝関節：⒆他動側方ならびに前後方向安定性　⒇伸展位での他動回旋安定性　(21)過伸展の制動　(22)内反・外反膝
28	足関節：⑴基本概念　⑵距腿関節の形態と靭帯　⑶足部の運動の定義
29	足関節：⑷運動筋　⑸安定化機構
30	足関節：⑹横方向の安定性　⑺前後方向の安定性　⑻回旋方向の安定性

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	人間発達学					担当者名		松田　大輔			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	胎児期から新生児期、乳児期、学童期から、青年期、老年期に至るまでの、身体的な発育・発達及び精神的な発達を学び、それぞれの時期の発達の特徴を体系的に理解する。また、発育・発達に関係する因子と発達理論及び発達評価法の概略を学ぶ。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	イラストでわかる人間発達学		医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	運動機能（粗大運動、微細運動）の発達と評価と成長､認知、社会性、情緒の発達と評価を理解する。1
2	運動機能（粗大運動、微細運動）の発達と評価と成長､認知、社会性、情緒の発達と評価を理解する。2
3	運動機能（粗大運動、微細運動）の発達と評価と成長､認知、社会性、情緒の発達と評価を理解する。3
4	胎児期からの循環系の発達と出生後の呼吸循環機能の加齢による推移を学ぶ。1
5	胎児期からの循環系の発達と出生後の呼吸循環機能の加齢による推移を学ぶ。2
6	血液像、栄養所要量、消化機能及び腎臓機能の変化について新生児期から青年期までの推移を理解する。思春期から青年期における精神面の発達とその特徴を学ぶ。1
7	血液像、栄養所要量、消化機能及び腎臓機能の変化について新生児期から青年期までの推移を理解する。思春期から青年期における精神面の発達とその特徴を学ぶ。2
8	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達の正常運動発達を学ぶ。1　　【中間試験】
9	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達の正常運動発達を学ぶ。2
10	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達の正常運動発達を学ぶ。3
11	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達の正常運動発達を学ぶ。4
12	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達で脳神経の発達と反射の発達を学ぶ。1
13	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達で脳神経の発達と反射の発達を学ぶ。2
14	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達で脳神経の発達と反射の発達を学ぶ。3
15	胎児期から新生児期、乳児期の発育・発達で脳神経の発達と反射の発達を学ぶ。4

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床心理学					担当者名		手嶋　雄太			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	心理学とは何か考えるところから始め、近年では、心の問題のみならず、身体疾患に関連する問題の解決のためにも心理学的知識が重要であるため、発達段階での問題から臨床で起こりうる問題を例示しながら、リハビリテーション心理学に関する理論と共に、その理論に基づくアセスメント方法や介入法について学ぶことを目的とする。
成績評価	定期試験期末試験100%）と出席・授業態度（減点法）で総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	よくわかる臨床心理学　わたし−あなた−人間理解 第２版	山口　創　著	川島書店
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	臨床心理学とは　１）　正常と異常
2	臨床心理学とは　２）　適応と不適応
3	臨床心理学の周辺の理論　１）　性格の構造及び類型論、特性論
4	臨床心理学の周辺の理論　２）　心の発達
5	心の問題　１）　乳幼児期、児童期、思春期、成人期
6	心の問題　２）　成人期以降
7	心理アセスメント　１）　心理検査法　「質問紙法」
8	心理アセスメント　２）　心理検査法　「投影法」
9	心理アセスメント　３）　心理検査法　「作業検査法、知能検査」
10	心理アセスメント　４）　観察法、面接法、他児童心理アセスメント
11	心理的問題に対するアプローチ　１）　様々な心理療法：精神分析療法、来談者中心療法、行動療法、交流分析、他
12	心理的問題に対するアプローチ　２）　家族療法、認知療法　他
13	心理療法におけるカウンセラーとクライエント　１）　心理療法の効果
14	心理療法におけるカウンセラーとクライエント　２）　良好な関係作り
15	まとめ　心理学　国家試験過去問題の傾向と対策

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	病理学					担当者名		今村　啓太			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	病気の原因を理解するために、病理学を学ぶ。特に総論をしっかりと学習することで、各疾患についての概要を捉えることに役立てていく。
成績評価	出席状況・講義への参加意欲・定期試験を総合的に判断する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　病理学　第4版	奈良勲　鎌倉矩子　編集	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション　病理学の概要
2	病因論　　退行性病変（変性、萎縮、細胞死）
3	進行性病変（肥大、過形成、化成、再生と創傷治癒）
4	代謝障害（タンパク質代謝異常、核酸代謝異常、脂質代謝異常）
5	代謝障害（糖質代謝異常）　　循環障害（充血、うっ血、出血）
6	循環障害（血栓、塞栓、梗塞、高血圧症、門脈圧亢進症）
7	免疫（因子と細胞、免疫の成立）
8	免疫反応がもたらす傷害・疾患
9	炎症
10	感染症
11	腫瘍（生物学的特徴、組織形態）
12	腫瘍（進展形式）　　老化
13	先天異常
14	各論　循環器疾患、神経系疾患など
15	各論　呼吸器疾患、消化器疾患など

九州医療スポーツ専門学校

2021年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	基礎栄養学					担当者名	永野　忍					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								15			

授業概要	人間が生まれてから死ぬまでを、栄養学の観点から理解することを目的とする。そのために、五大栄養素の働き、栄養素と食品との関係、日本人の食事摂取基準と食生活、治療食の種類と分類、食生活と生活習慣病の関係について、また、ライフサイクルと栄養について学習する。
成績評価	授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，定期試験（後半は除外），出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	好きになるシリーズ、好きになる栄養学　第2版	麻見直美、塚原典子著	株式会社講談社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	人体の構造（消化器官・細胞）について
2	食品に含まれる栄養素の種類とはたらき（主に三大栄養素）について
3	食品に含まれる栄養素の種類とはたらき（主にビタミン・ミネラル）について
4	ライフステージと栄養（妊婦、乳児期～学童期）について
5	ライフステージと栄養（思春期～高齢期、スポーツ栄養）について
6	治療食（食事療法）、病院食、栄養補給法について
7	疾患別食事療法について
8	栄養と生活習慣病、食生活の問題、食事摂取基準について
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

九州医療スポーツ専門学校

2021年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	基礎薬理学					担当者名	永野　忍					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								15			

授業概要	薬剤の使用目的、効能、使用方法、禁忌事項などについて理解することを目的とする。具体的には、薬剤の使用目的については、疾患の原因を取り除く原因療法、体内に欠乏する物質を補う補充療法、疾患の原因を取り除くことができなくとも病気による不快な症状を取り除く対症療法、インフルエンザワクチンなどのような予防接種等について学習する。また、高血圧、糖尿病、精神病など、リハビリテーションの対象となる疾患のための薬物については、訓練との関係から禁忌事項などについても学習する。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	特になし		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	薬理学総論
2	薬理学各論：運動器系疾患治療に使用する薬物及び薬物療法
3	薬理学各論：呼吸・循環器系疾患治療に使用する薬物及び薬物療法
4	薬理学各論：神経系疾患治療に使用する薬物及び薬物療法
5	薬理学各論：代謝疾患治療に使用する薬物及び薬物療法
6	薬理学各論：アレルギー･炎症、呼吸器系疾患治療に使用する薬物及び薬物療法
7	薬理学各論：感染症･がん治療に使用する薬物及び薬物療法
8	臨床薬理学：薬害、薬物依存、スポーツと薬
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	整形外科学Ⅰ					担当者名		岩田　芳典			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	整形外科の科学基礎から骨・軟骨・靭帯・腱の損傷修復と再生、診断総論としての検査（徒手的検査法、レントゲン、MRI、骨シンチなど）、治療総論としての保存療法と手術療法、疾患総論としての軟部組織・骨・関節の感染症、関節リウマチとその類縁疾患、慢性関節疾患（退行性，代謝性）、四肢循環障害と阻血壊死性疾患、先天性骨系統・代謝性骨疾患、先天異常症候群、骨・軟部腫瘍、神経・筋疾患について学習する。
成績評価	授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準整形外科学　第12版	中村利孝・松野丈夫	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	整形外科の基礎科学：骨・軟骨・靭帯・腱の損傷修復と再生1.
2	整形外科の基礎科学：骨・軟骨・靭帯・腱の損傷修復と再生2.
3	整形外科診断総論：主訴・主症状からの想定すべき疾患、整形外科的現症の取り方
4	整形外科診断総論：検査（画像検査・検体検査・生体検査）
5	整形外科治療総論：保存療法と手術療法1.
6	整形外科治療総論：保存療法と手術療法2.
7	整形外科疾患総論1：軟部組織・骨・関節の感染症
8	整形外科疾患総論2：関節リウマチとその類縁疾患
9	整形外科疾患総論3：慢性関節疾患（退行性，代謝性）
10	整形外科疾患総論4：四肢循環障害と阻血壊死性疾患
11	整形外科疾患総論5：先天性骨系統疾患、先天異常症候群
12	整形外科疾患総論6：代謝性骨疾患
13	整形外科疾患総論7：骨腫瘍
14	整形外科疾患総論8：軟部腫瘍
15	整形外科疾患総論9：神経疾患、筋疾患

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	整形外科学Ⅱ					担当者名		岩田　芳典			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	整形外科1の基礎から、外傷学として外傷総論、軟部組織損傷、骨折・脱臼、脊椎損傷、末梢神経損傷について学習する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準整形外科学　第12版	中村利孝・松野丈夫・井樋栄二他	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	整形外科疾患各論1（肩関節）機能解剖、診察・検査、疾患
2	整形外科疾患各論2（肘関節）機能解剖、診察・検査、疾患
3	整形外科疾患各論3（手関節と手）機能解剖、診察・検査、疾患
4	整形外科疾患各論4（頸椎）機能解剖、診察・検査、疾患
5	整形外科疾患各論5（胸郭）機能解剖、診察・検査、疾患
6	整形外科疾患各論6（胸腰椎）機能解剖、診察・検査、疾患
7	整形外科疾患各論7（股関節）機能解剖、診察・検査、疾患
8	整形外科疾患各論8（膝関節）機能解剖、診察・検査、疾患
9	整形外科疾患各論9（足関節と足）機能解剖、診察・検査、疾患
10	整形外科外傷1　総論、軟部組織損傷
11	整形外科外傷2　骨折・脱臼
12	整形外科外傷3　骨折・脱臼
13	整形外科外傷4　骨折・脱臼
14	整形外科外傷6　脊椎損傷
15	整形外科外傷7　末梢神経損傷

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	神経内科学Ⅰ					担当者名		中山　大貴			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	神経疾患がリハビリテーションの中で占める割合は大きく，解剖と機能の面から神経症候学の特徴を整理し，神経疾患に対して興味を持って臨床の場に向かわせたい。
成績評価	出席状況・授業への参加意欲や態度、提出物、定期試験を総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準理学療法学　専門分野　神経理学療法学		医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	総論（神経内科学とは、勉強の進め方、神経症候）
2	脳血管障害（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1)
3	脳血管障害（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2)
4	脳血管障害（病態と画像所見の統合）3)
5	変性疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1)
6	変性疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2)
7	変性疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）3)
8	脱髄疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1)
9	脱髄疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2)
10	末梢神経障害（ニューロパチー）（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1)
11	末梢神経障害（ニューロパチー）（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2)
12	神経筋接合部疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1)
13	神経筋接合部疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2)
14	筋疾患（ミオパチー）（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）1)
15	筋疾患（ミオパチー）（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）2)

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	神経内科学Ⅱ					担当者名		中山　大貴			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	神経疾患がリハビリテーションの中で占める割合は大きく，解剖と機能の面から神経症候学の特徴を整理し，神経疾患に対して興味を持って臨床の場に向かわせたい。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準理学療法学　専門分野　神経理学療法学		医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	腫瘍（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
2	腫瘍関連の国家試験問題
3	脊髄疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
4	脊髄疾患の国家試験問題
5	感染性疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
6	感染性疾患の国家試験問題
7	先天異常、脳性麻痺（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
8	先天異常、脳性麻痺の国家試験問題
9	代謝、中毒性疾患（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
10	代謝、中毒性疾患の国家試験問題
11	外傷（解剖・生理の基礎、疾患の病態と検査法）
12	外傷の国家試験問題
13	自律神経疾患、機能性疾患、視覚・聴覚障害、認知疾患
14	国家試験問題
15	国家試験問題とまとめ

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	内科学					担当者名		野口　敦			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	全身的な内科疾患を伴った患者（理学療法対象者）のニーズに対応できる能力を養う。国家試験に出題頻度の高い主な内科疾患では、病態生理，症状，症候，診断等について幅広く学ぶ。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率，定期試験などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　内科学	監修：奈良　勲／鎌倉　矩子他	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1. 全身状態 1）バイタルサイン
2	1. 全身状態 2）栄養状態 3）皮膚（褥瘡を含む）
3	2. 症候 1）胸痛（腹部痛）2）呼吸困難・呼吸異常
4	2. 症候 3）喀血・吐血 4）動悸・心悸亢進
5	2. 症候 5）チアノーゼ 6）ショック 7）浮腫
6	2. 症候 8）発熱 9）全身倦怠感 10）食欲不振・食思不振 11）悪心・嘔吐 12）腹痛
7	2. 症候 13）易感染性 14）意識障害 15）めまい 16）頭痛 17）けいれん
8	3. 各論 1）電解質異常
9	3. 各論 2）腎・泌尿器疾患　3）血液・造血器疾患
10	3. 各論 4）内分泌疾患----------（生理学の基礎が重要）
11	3. 各論 5）感染症
12	3. 各論 6）消化器疾患
13	3. 各論 7）アレルギー疾患・膠原病
14	3. 各論 8）腫瘍（癌）----------（病理学の基礎が重要）
15	まとめ

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	老年医学					担当者名		永野　忍			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	老年期にみられる障害の特性を理解するために老化のメカニズムや生理学的特性、老年期の心理、老化に伴う生活機能の変化、高齢者を取りまく地域の問題など幅広く学習する。また、老化に伴い特徴的に現れる疾患・障害とその病態についても学習する。 その理解の下、治療手技を習得する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野老年学	奈良 勲	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	総論 骨運動器疾患①（骨粗鬆症・骨折・変形性関節症・関節リウマチ・後縦靭帯骨化症）
2	骨運動器疾患②　発表
3	骨運動器疾患③　発表
4	神経疾患①（慢性硬膜下血腫・心原性脳梗塞・多発性ラクナ梗塞・パーキンソン病・血管障害性パーキンソンニズム・末梢神経障害）
5	神経疾患②　発表
6	神経疾患③　発表
7	呼吸器疾患①（誤嚥性肺炎・COPD・間質性肺炎・呼吸器感染症）
8	呼吸器疾患②　発表
9	呼吸器疾患③　発表
10	循環器疾患①（血圧異常・不整脈・虚血性心疾患・心不全）
11	循環器疾患②　発表
12	循環器疾患③　発表
13	老年症候群①（認知症・フレイル・尿失禁・サルコペニア・低栄養・廃用症候群）
14	老年症候群②　発表
15	老年症候群③　発表

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	小児科学					担当者名		松田　大輔			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									15		

授業概要	小児科学に必要な基礎知識の確認と、小児の特徴、発達および小児特有の病気を学習する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率，定期試験などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準理学療法学・作業療法学　小児科学（第４版）	編集　冨田　豊	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1.新生児疾患 1）新生児呼吸窮迫症候群　2）マススクリーニング　3）新生児感染　4）新生児痙攣の原因 5）血液脳関門
2	2.遺伝性疾患・染色体・奇形　1）先天異常　2）染色体①常染色体異常②性染色体異常
3	3）環境因子による奇形①先天性風 4）分娩損傷
4	3.呼吸器疾患　1）喘息　2）細気管支炎　3）肺炎　4）ウイルス感染か？細菌感染か？ 4.消化器疾患　1）乳児肥厚性幽門狭窄症　2）腸重積症　3）胆道閉鎖症
5	各論：5.アレルギー・免疫・膠原病　1）気管支喘息　　2）リウマチ熱　3）若年性関節リウマチ　4）川崎病
6	6.血液疾患　1）紫斑病　2）播種性血管内凝固症候群　3）急性リンパ性白血病　4）主な小児悪性新生物　7.内分泌疾患
7	8.感染症　1）麻疹　2）風疹　3）水痘　4）流行性耳下腺炎　5）手足口病　6）百日咳　　7）ワクチン　8）食中毒と腸管感染症　9.泌尿器疾患
8	10.循環器疾患 1）乳児うっ血性心不全 2）チアノーゼ 3）心室中隔欠損症　4）心房中隔欠損症　5）動脈管開存症 6）完全大血管転位症 7）突然死を起こしやすい心疾患

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	リハビリテーション医学				担当者名	谷上　弘樹					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	リハビリテーション医学では，まず，基礎となる学問体系を概説し，次に，対象となる脳や脊髄の損傷・障害，神経・筋疾患，発達障害，切断，関節リウマチを含む骨・関節疾患，各種内部疾患などに対する診断や治療の進め方を解説する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	なし		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	脳血管障害および脳の疾患、脳性麻痺および小児疾患、脊髄損傷、二分脊椎、神経・筋疾患のリハビリテーションについて1)
2	脳血管障害および脳の疾患、脳性麻痺および小児疾患、脊髄損傷、二分脊椎、神経・筋疾患のリハビリテーションについて2)
3	関節リウマチ・膠原病、骨関節疾患のリハビリテーションについて1)
4	関節リウマチ・膠原病、骨関節疾患のリハビリテーションについて2)
5	切断と義肢のリハビリテーションについて1)
6	切断と義肢のリハビリテーションについて2)
7	循環器疾患、呼吸器疾患のリハビリテーションについて1)
8	循環器疾患、呼吸器疾患のリハビリテーションについて2)
9	糖尿病と肥満、末梢血行不全のリハビリテーションについて1)
10	糖尿病と肥満、末梢血行不全のリハビリテーションについて2)
11	疼痛性疾患、老化と障害、その他の疾患（悪性腫瘍・熱傷）のリハビリテーションについて1)
12	疼痛性疾患、老化と障害、その他の疾患（悪性腫瘍・熱傷）のリハビリテーションについて2)
13	合併症（1）廃用性症候群（2）過用症候群（3）褥瘡（4）肩手症候群（5）異所性骨化のリハビリテーションについて--1)
14	合併症（1）廃用性症候群（2）過用症候群（3）褥瘡（4）肩手症候群（5）異所性骨化のリハビリテーションについて--2)
15	合併症（1）廃用性症候群（2）過用症候群（3）褥瘡（4）肩手症候群（5）異所性骨化のリハビリテーションについて--2)

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	精神医学					担当者名		手嶋　雄太			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	専門基礎である精神医学の理解に努め、臨床及び国家試験で問われる精神疾患の知識の獲得を主な目的とする。精神医学の概要から各論の各疾患の知識、及び精神分野の評価や治療、福祉などについて学び、精神疾患に対する理学療法を説明できることを目的とする
成績評価	定期試験（中間試験20%及び期末試験80%）と出席・授業態度（減点法）で総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野　精神医学	上野 武治　編集	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1.精神医学とは　2.正常と異常　※3代疾患：統合失調症、うつ病、躁病の紹介
2	3.精神障害の障害と分類１）WHO　国際疾病分類　ICD-10　2）米国精神医学会分類　DSM-5
3	4.精神機能の障害と症状　異常精神徴候（異常）1）知覚の異常
4	4.精神機能の障害と症状　異常精神徴候（異常）2）記憶の異常 3)思考の異常 4）知能の異常
5	4.精神機能の障害と症状　異常精神徴候（異常）5）感情の異常 6)意欲の異常 7)自我意識の異常
6	4.精神機能の障害と症状　異常精神徴候（異常）8)意識の異常 9）巣症状(局所徴候)
7	4.精神機能の障害と症状　異常精神徴候（異常）10）妄想
8	中間試験
9	精神科評価　１）身体的検索など
10	精神科評価　２）実技：BGT、三宅式記銘力検査など
11	精神科評価　３）実技：バウムテスト 症状性精神障害、心身症、コンサルテーション・リエゾン精神医学
12	統合失調症、感情障害（うつ病、躁病）
13	器質性精神障害（認知症）、てんかん
14	神経症性障害，ストレス関連障害，身体表現性障害
15	アルコール疾患、薬物、他　まとめ　国家試験過去問題の傾向と対策

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	リハビリテーション概論				担当者名	谷上　弘樹					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	リハビリテーションの定義、特殊性、歴史、障害論、医療チームにおける役割や関連職や社会的位置付けや医療専門職として必要な職業意識や倫理観を学ぶ。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	なし		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1. リハビリテーション医学の定義
2	2. 障害
3	3. リハビリテーション医学とは
4	4. リハビリテーションの歴史
5	5. 国際障害分類
6	6. リハビリテーション医療関連職
7	7. 老化現象・高齢者
8	8. 廃用症候群①
9	8. 廃用症候群②
10	9. 社会資源と社会保障　1）社会資源資源
11	9. 社会資源と社会保障　2）社会保障
12	9. 社会資源と社会保障　3）法律
13	10. ノーマライゼーション、ユニバーサルデザイン　1）ノーマライゼーションの意
14	10. ノーマライゼーション、ユニバーサルデザイン2）ユニバーサルデザイン
15	11. インフォームド・コンセント1）インフォームド・コンセントとは

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	保健医療福祉制度論				担当者名	籾井　剛士					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	1 保健医療福祉のシステムについて説明できる 2 わが国における医療供給体制と医療保障制度について説明できる
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	わかりやすい公衆衛生学		ﾇｰｳﾞｪﾙﾋﾛｶﾜ
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1社会の変化と保健医療福祉　【人口動態，疾病罹患動態，保健医療福祉制度，歴史，法律】
2	2保健医療福祉制度の現状と改革の動向　【保健医療福祉システム，国，自治体，行政施策，改革動向】
3	3医療保険制度　【医療保障，医療保険，保険料，後期高齢者医療制度，診療報酬制度，国民医療費】
4	4介護保険制度　【介護保障，介護保険，介護認定，介護保険料，介護資源，ケア計画】
5	5医療福祉とソーシャルワーク　【ソーシャルワーク，ケースワーク，アドヴォカシー，当事者主義，地域生活支援，地域福祉資源】
6	6障害者における地域生活支援，支援モデルと多職種連携　【地域生活支援，障害構造，エンパワメント，医学モデル，生活モデル，社会モデル，自立支援法】
7	7慢性疾患・難病患者における地域生活支援　【地域生活支援，リハビリテーション，心理，家族】
8	8高齢者の地域生活支援(1)　【加齢による生活障害，ロコモティヴシンドローム，廃用症候群，認知症】
9	9高齢者の地域生活支援(2)　【介護，介護支援，家族，介護負担，　ケアマネジメント，ケアマネージャー】
10	10高齢者の地域生活支援（3）　【訪問リハビリテーション，通所リハビリテーション，入所リハビリテーション，医学的リハビリテーション，ショートスティ】
11	11精神保健と精神障害　【精神保健施策，精神疾患，精神障害，精神障害者支援，リカバリー，ケースマネジメント】
12	12ターミナルケアと医療福祉　【ターミナルケア，緩和ケア，全人的アプローチ，死】
13	13小児関連の保健医療福祉　【母子保健，子育て支援，発達障害，教育，ハビリテーション】
14	14保健予防・健康増進　【健康，疾病，ライフスタイル】
15	15保健予防・健康増進　【社会，Q.O.L　寿命，活動能力，生活体力】

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	理学療法概論Ⅰ					担当者名		今村　啓太			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	理学療法および理学療法士への理解を深めることを目標に以下の内容について学ぶ. ①理学療法の歴史や定義を通して，我が国における理学療法の概要を理解する．②理学療法とリハビリテーションとの関連を説明できる．③理学療法士の役割や業務内容を理解する．　④我が国おける医療保険ならび介護保険制度などの社会保障制度について理解を深める.
成績評価	筆記試験・レポートにより評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	理学療法概論テキスト改訂2版	中島喜代彦/森田正治/久保田章仁	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション　なぜ理学療法士を目指そうと思ったか（グループ討議）
2	理学療法の歴史と定義
3	世界の理学療法の定義：英語の辞書持参
4	理学療法とリハビリテーション：リハビリテーションとは　ノーマライゼーション　リハビリテーションの種類
5	理学療法士の使命と倫理
6	理学療法を構成する各種技術（物理療法）物理療法機器の操作・体験
7	理学療法を構成する各種技術（運動療法①）　各種運動療法機器の操作・体験
8	理学療法を構成する各種技術（運動療法②）　腰痛体操などの各種体操の実践
9	理学療法を構成する各種技術（日常生活活動訓練）　各種機器の操作・使用体験
10	理学療法を構成する各種技術（補装具）と環境整備
11	理学療法を構成する各種技術
12	医療場面での理学療法の実際：特に評価に意義
13	クリニカルパスについて　診療ガイドラインについて
14	理学療法と障害：障害の医学モデルならびに社会モデル　国際障害分類から国際生活機能分類へ
15	国際生活機能分類(ICF)と理学療法士

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	理学療法概論Ⅱ				担当者名	中山　大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	理学療法および理学療法士への理解を深めることを目標に以下の内容について学ぶ．①理学療法士の活躍の場を理解する．　②理学療法士に関係する法律を知る．③理学療法士教育の現状を，諸外国との比較を通して理解する．④理学療法の研究法について理解を深める．⑤理学療法士に必要な管理運営を知る．
成績評価	フィールドワークのレポートおよび筆記試験により評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	理学療法概論テキスト改訂2版	中島喜代彦/森田正治/久保田章仁	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	理学療法士の活躍の場：医療現場
2	理学療法士の活躍の場：保健・福祉現場　教育・研究現場　スポーツの場
3	地域包括ケアと理学療法士
4	理学療法士及び作業療法士法
5	理学療法(士)と教育
6	理学療法と研究
7	理学療法士に必要な管理や運営：医療保険と介護保険　診療報酬と介護報酬
8	理学療法士に必要な管理や運営：リスク管理
9	フィールドワーク①
10	フィールドワーク②
11	フィールドワーク③
12	フィールドワークのまとめ①
13	フィールドワークのまとめ②
14	フィールドワークの発表①
15	フィールドワークの発表②

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床運動学				担当者名	松田　大輔					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	理学療法の専門科目を学習する上で有用な基礎学力の習得を目標に，人体作用に物理学的の内容を講義する。また自然科学的な現象から物理的な見方を授業する。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	基礎運動学　第6版補訂	中村隆一、斎藤宏、長崎浩編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1)力の合成と分解　2)テコ
2	3)重心の求め方　4)重心の速度・加速度
3	5)床反力と重心加速度　6)ＣＯＰ（Center of Pressure）床反力作用点とは何か
4	姿勢１・２・３
5	歩行1【歩行とは・歩行周期・重心の移動・高さ】　歩行2【歩行の関節角度・歩行時の筋活動・歩行の5要素】
6	歩行3【下腿の歩行時の動き・筋活動のまとめ・歩行時の上肢の運動】 歩行4【床反力・歩行時のエネルギー代謝・小児/高齢者の歩行】歩行5【年齢の違いによる歩行】
7	異常歩行1【異常歩行の原因（骨格系・筋系・神経系）、異常歩行の特徴、異常歩行の分類】
8	異常歩行2【歩行分析と臨床でのアプローチ】
9	7）立位・座位バランス・リーチ（NXPowerLite）
10	8)関節モーメント（NXPowerLite）
11	9)ジャンプ動作（NXPowerLite）
12	10)立ち上がりのバイオメカニクス
13	11)歩き出しのバイオメカニクス
14	12)歩行のバイオメカニクス　1.歩行の観察　2.重心と床反力作用点
15	13)歩行のバイオメカニクス　3.衝撃吸収とアンクルロッカー　4.国家試験問題

九州医療スポーツ専門学校

2022年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	理学療法管理学	担当者名	永野　忍

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						30

授業概要	医療・介護に関わる理学療法士として知らなくてはいけない保健、医療、福祉に関する制度について理解を深め、さらに、制度のなかで理学療法士がより活躍できるようにするための政策提言などの方法についても理解する。
成績評価	試験により評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	理学療法管理学 良質な医療・介護提供のための管理運営・政策論	監修□植松光俊 編集□中川法一/田中昌史	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	管理運営概論①
2	管理運営概論②
3	良質な医療の提供
4	臨床現場におけるデータ管理
5	ビッグデータと政策
6	医療・介護の制度と報酬
7	政策とその形成過程
8	医療・介護の財政および制度と保険点数
9	理学療法士の身分法とその職能団体
10	理学療法士の業務と政治活動の必要性
11	職域拡大とその背景
12	職域拡大の現状と方向性
13	取り巻く社会情勢に適合した理学療法士へ
14	社会情勢を踏まえた未来への開拓
15	まとめ

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	理学療法評価法Ⅰ					担当者名		今村　啓太、野口　敦			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						60					

授業概要	理学療法に必要な検査・測定の目的や意義、方法について原則的な事項を学習し、各種疾患の評価方法の基礎知識と技術を学ぶ。評価の目的、情報の収集と分析、治療プログラム、到達ゴール等の評価の過程、評価の進め方と時期、評価の記録と報告、必要器具、評価実施上の留意点。四肢長、周径計測、関節可動域測定、反射検査、知覚検査などの講義を行う。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	理学療法評価法　第3版		神陵文庫
参考図書	新・徒手筋力検査法　原著第9版	Helen J. Hislop, Dale Avers他	協同医書出版社

回数	授　業　計　画
1	理学療法評価学総論　4/16(木)　2限目　今村
2	反射とは（表在反射）　4/16(木)　3限目　野口
3	ICFとICIDH　4/23(木)　2限目　今村
4	反射実技　腱反射　病的反射・反射検査まとめ　4/23(木)　3限目　野口
5	情報収集，医療面接【問診および医学的・社会的事項の情報収集の仕方】4/30(木)　2限目　今村
6	姿勢反射（姿勢反射とは・脳幹レベル）　4/30(木)　3限目　野口
7	″実技意識障害の診方【Japan Coma Scale, Glasgow Coma Scale】vital signの診方【Vital sign（脈拍，血圧，呼吸数・他）】（実技）″　5/7(木)　2限目　今村
8	姿勢反射（中脳レベル）（脊髄・皮質レベル）　5/7(木)　3限目　野口
9	ADLとは　5/14(木)　2限目　今村
10	関節可動域測定（総論）　5/14(木)　3限目　野口
11	ADL評価（BI、FIM）　5/21(木)　2限目　今村
12	（実技）関節可動域測定（股関節）　5/21(木)　3限目　野口
13	ADL評価（BI、FIM）まとめ　5/28(木)　2限目　今村
14	（実技）関節可動域測定（膝関節・足関節）　5/28(木)　3限目　野口
15	形態測定（BMI、上肢長、棘果長）実技　6/4(木)　2限目　今村
16	（実技）関節可動域測定（頚部）　6/4(木)　3限目　野口

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	理学療法評価法Ⅰ				担当者名	今村　啓太、野口　敦					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						60					

回数	授　業　計　画
17	形態測定（転子下長～上肢周径）実技　6/11(木)　2限目　今村
18	（実技）関節可動域測定（体幹）　6/11(木)　3限目　野口
19	形態測定（下肢周径～断端長・断端周径）実技　6/18(木)　2限目　今村
20	（実技）関節可動域測定（手指・足趾）　6/18(木)　3限目　野口
21	形態測定（まとめ）　6/25(木)　2限目　今村
22	関節可動域測定（体幹・手指）　6/25(木)　3限目　野口
23	（実技）関節可動域測定（肩甲帯）　7/2(木)　2限目　今村
24	関節可動域測定実技練習（下肢）　7/2(木)　3限目　野口
25	（実技）関節可動域測定（肩関節屈曲・伸展　外転・内転）　7/9(木)　2限目　今村
26	関節可動域測定実技練習（体幹）　7/9(木)　3限目　野口
27	（実技）関節可動域測定（肩関節外旋・内旋　水平屈曲・水平伸展）7/16(木)　2限目　今村
28	関節可動域測定実技練習（上肢）　7/16(木)　3限目　野口
29	（実技）関節可動域測定（肘関節屈曲・伸展　前腕回内・回外　手関節屈曲・伸展　橈屈・尺屈） 7/30(木)　2限目　今村
30	関節可動域測定実技練習（まとめ）　7/30(木)　3限目　野口

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	理学療法評価法Ⅱ					担当者名		清水　圭悟、野口　敦			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							60				

授業概要	理学療法評価法で習得した各評価項目を実践できるようになることである。理学療法に必要な検査・測定について原則的な事項を学習し、各種疾患の評価方法の基礎知識と技術を学ぶ。評価の目的、情報の収集と分析、治療プログラム、到達ゴール等の評価の過程、評価の進め方と時期、評価の記録と報告、必要器具、評価実施上の留意点。四肢長、周径計測、関節可動域測定、反射検査、知覚検査などの実習を行う。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	理学療法評価法　第3版		神陵文庫
参考図書	新・徒手筋力検査法　原著第9版		協同医書

回数	授　業　計　画
1	徒手筋力検査（ＭＭＴ）（筋力とは、筋力測定の意義、ＭＭＴの目的、ＭＭＴの信憑性と妥当性、ＭＭＴ実施上の留意点、ＭＭＴの結果に及ぼす因子）（清水 9月15日）
2	感覚検査の意義（感覚検査の目的、感覚検査から得られる情報、感覚検査の種類　（野口 9月17日）
3	感覚検査実技（記録法、感覚検査測定の実際、触覚・温度覚・痛覚検査）（野口 9月24日）
4	ＭＭＴ実技（股関節屈曲、股関節屈曲・外転・および膝関節屈曲位での外旋、股関節伸展）（清水 9月29日）
5	感覚検査（深部感覚・位置覚感覚・運動覚・関節覚・複合感覚主な疾患の感覚障害）（野口 10月 1日）
6	ＭＭＴ実技（股関節外転、股関節屈曲位からの外転、股関節内転、外旋、股関節内旋、膝関節屈曲、伸展、足関節底屈）（清水 10月 6日）
7	痛みの検査（痛みの定義、痛みの種類と特性、痛みの臨床的評価スケール）（野口 10月 8日）
8	ＭＭＴ実技　（肩甲骨外転と上方回旋・挙上・内転・下制と内転）（清水 10月13日）
9	痛みの検査（痛みの評価方法）（野口 10月 15日）
10	ＭＭＴ実技　（肩甲骨外転と上方回旋・挙上・内転・下制と内転）（清水 10月20日）
11	協調性検査（協調性とは、協調性を支えるメカニズム、神経学的メカニズム、協調性の障害と症状、運動失調症の診わけ方）（野口 10月 22日）
12	ＭＭＴ実技　（肩甲骨内転と下方回旋・屈曲・伸展・肩甲骨面挙上・外転）（清水 10月27日）
13	協調性検査の実際（実技）四肢の一般的運動失調検査（野口 10月 29日）
14	ＭＭＴ実技　（肩関節水平外転・水平内転・外旋・内旋・肘関節屈曲）（清水 12月 8日）
15	協調性検査まとめ（野口 12月 10日）
16	ＭＭＴ実技　（肘関節伸展、前腕回外・回内）ＭＭＴ下肢まとめ（清水 12月 15日）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	理学療法評価法Ⅱ				担当者名	清水　圭悟、野口　敦					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							60				

回数	授　業　計　画
17	筋緊張の検査（筋緊張とは、正常と異常の定義、筋緊張異常を認める中枢神経疾患とその病態、評価結果の解釈と臨床的意義（野口 12月 17日）
18	ＭＭＴ実技　（手関節屈曲・伸展、頭部伸展）（清水 12月 22日）
19	筋緊張の検査（筋緊張異常検査、筋緊張検査の注意点）（野口 12月 24日）
20	ＭＭＴ実技　（頚部伸展、頚部複合伸展、頭部屈曲、頚部屈曲、頚部複合屈曲）ＭＭＴ下肢まとめ（清水 R3.1月 5日）
21	画像（総論）（野口 1月 7日）
22	ＭＭＴ実技　（一方の胸鎖乳突筋だけを分離観察するための複合屈曲、頚部回旋、体幹伸展、骨盤挙上）（清水 1月 12日）
23	画像（呼吸・循環分野、レントゲン、MRI、CT、心臓血管造影、心電図、心臓超音波エコー）（野口 1月 14日）
24	ＭＭＴ実技　（体幹屈曲、体幹回旋）（清水 1月 19日）
25	画像（中枢神経分野、MRI、CT、脳血管造影）　（野口 1月 21日）
26	ＭＭＴ実技　（まとめ）（清水 1月 26日）
27	画像（整形分野、レントゲン検査、MRI、CT、超音波エコー）（野口 1月 28日）
28	整形外科的テスト（脊椎）（下肢）（清水 2月 2日）
29	高次脳機能検査　（野口 2月 4日）
30	整形外科的テスト（上肢）（清水 2月 9日）

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	日常生活活動					担当者名		永野　忍			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								60			

授業概要	リハビリテーションにおける日常生活活動の概念および基本的な考え方。ならびに日常生活活動の評価、基本動作訓練・指導を学ぶ。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	理学療法学テキストⅤ　日常生活活動（ADL）第2版		神陵文庫
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	日常生活活動の概念と範囲、QOLの概念
2	ICFとは何か
3	ADLの種類・日常生活活動の運動学　（基本動作）
4	ADLの種類・日常生活活動の運動学　（食事動作）
5	ADLの種類・日常生活活動の運動学　（排泄動作）
6	ADLの種類・日常生活活動の運動学　（入浴動作）
7	ADLの種類・日常生活活動の運動学　（整容・更衣動作）
8	移動補助具について（杖・松葉杖）
9	車いすについて
10	移乗動作について
11	移乗動作について（演習）
12	移乗動作について（演習）
13	評価の概念と目的（BI）
14	評価（FIM　他）
15	前半まとめ
16	腰痛症のＡＤＬ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	日常生活活動				担当者名	永野　忍					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								60			

回数	授　業　計　画
17	慢性関節リウマチのＡＤＬ①
18	慢性関節リウマチのＡＤＬ②
19	脳血管障害のＡＤＬ①
20	脳血管障害のＡＤＬ②
21	脳血管障害のＡＤＬ③
22	脳血管障害のＡＤＬ④
23	神経難病のＡＤＬ①
24	神経難病のＡＤＬ②
25	脊髄損傷のＡＤＬ①
26	脊髄損傷のＡＤＬ②
27	脊髄損傷のＡＤＬ③
28	老年期障害のＡＤＬ①
29	老年期障害のＡＤＬ②
30	リハ関連機器

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	運動療法Ⅰ					担当者名		清水　圭悟、綿谷　昌明、野口　敦			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								60			

授業概要	基本となる障害（節可動域制限、筋力低下、痛み、感覚障害、協調性障害、運動障害、バランス障害、全身状態低下）のエビデンスを理解することを学ぶ。基本となる障害（節可動域制限、筋力低下、痛み、感覚障害、協調性障害、運動障害、バランス障害、姿勢障害、全身状態低下）に対する具体的な理学的アプローチのエビデンスを学び、その技法の理論を習得した運動療法２の延長から、技法の実践を学ぶ。
成績評価	授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	運動療法学　第2版	市橋則明（編）	文光堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	ガイダンスおよび総論（野口 4月16日）
2	運動療法の概念　（野口 4月23日）
3	筋力低下に対する運動療法の理論 ①（野口 4月30日）
4	徒手理学療法の理論と実践①（綿谷 5月11日）
5	徒手理学療法の理論と実践②（綿谷 5月11日）
6	痛みに対する運動療法の理論　①（清水　5月12日）
7	筋力低下に対する運動療法の理論 ②（野口 5月14日）
8	徒手理学療法の理論と実践③（綿谷 5月18日）
9	徒手理学療法の理論と実践④（綿谷 5月18日）
10	痛みに対する運動療法の理論　②（清水 5月19日）
11	筋力低下に対する運動療法の理論 ③（野口 5月21日）
12	痛みに対する運動療法 ①（清水　5月26日）
13	筋力低下に対する運動療法 ①（野口 5月28日）
14	痛みに対する運動療法 ②（清水　6月 2日）
15	筋力低下に対する運動療法 ②（野口 6月 4日）
16	徒手理学療法の理論と実践 ⑤（綿谷 6月 8日）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	運動療法Ⅰ				担当者名	清水　圭悟、綿谷　昌明、野口　敦					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								60			

回数	授　業　計　画
17	徒手理学療法の理論と実践 ⑥（綿谷 6月 8日）
18	痛みに対する運動療法の理論　③（清水　6月 9日）
19	ROM制限に対する運動療法の理論 ①（野口 6月11日）
20	徒手理学療法の理論と実践 ⑦（綿谷 6月15日）
21	徒手理学療法の理論と実践 ⑧（綿谷 6月15日）
22	ROM制限に対する運動療法の理論 ②（野口 6月18日）
23	ROM制限に対する運動療法の理論 ③（野口 6月25日）
24	ROMに対する運動療法　①（野口 7月 2日）
25	徒手理学療法の理論と実践 ⑨（綿谷 7月 6日）
26	徒手理学療法の理論と実践 ⑩（綿谷 7月 6日）
27	ROMに対する運動療法　②（野口 7月 9日）
28	全身状態低下に対する運動療法の理論 ①　（野口 7月 16日）
29	全身状態低下に対する運動療法の理論 ②　（野口 7月 30日）
30	全身状態低下に対する運動療法の理論 ③　（野口 8月 6日）

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	運動療法Ⅱ					担当者名		清水　圭悟、野口　敦			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									60		

授業概要	基本となる障害に対する具体的な理学的アプローチのエビデンスを学び、その技法の理論を習得する。基本となる障害（節可動域制限、筋力低下、痛み、感覚障害、協調性障害、運動障害、バランス障害、姿勢障害、全身状態低下）に対する具体的な理学的アプローチのエビデンスを学び、その技法の理論を習得した運動療法２の延長から、技法の実践を学ぶ。
成績評価	授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	運動療法学　第2版	市橋則明（編）	文光堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	バランス障害に対する運動療法の理論 ①（清水 9月15日）
2	運動麻痺に対する運動療法の理論　①（野口 9月17日）
3	運動麻痺に対する運動療法の理論　②（野口 9月24日）
4	バランス障害に対する運動療法の理論 ②（清水 9月29日）
5	運動麻痺に対する運動療法の理論　③（野口 10月 1日）
6	バランス障害に対する運動療法の理論 ③（清水 10月 6日）
7	協調性運動障害に対する運動療法の理論 ①（野口 10月 8日）
8	バランス障害に対する運動療法 ①（清水 10月13日）
9	協調性運動障害に対する運動療法の理論 ②（野口 10月15日）
10	バランス障害に対する運動療法 ②（清水 10月20日）
11	協調性運動障害に対する運動療法の理論 ③（野口 10月22日）
12	姿勢障害に対する運動療法の理論　①（清水 10月27日）
13	協調性運動障害に対する運動療法①　（野口 10月29日）
14	姿勢障害に対する運動療法の理論　②（清水 12月 8日）
15	協調性運動障害に対する運動療法②　（野口 12月10日）
16	姿勢障害に対する運動療法の理論　③（清水 12月15日）

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	運動療法Ⅱ					担当者名		清水　圭悟、野口　敦			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									60		

回数	授　業　計　画
17	運動麻痺に対する運動療法の理論 ④（野口 12月17日）
18	姿勢障害に対する運動療法 ①（清水 12月22日）
19	運動麻痺に対する運動療法①（野口 12月24日）
20	姿勢障害に対する運動療法 ②（清水　 R3.1月 5日）
21	運動麻痺に対する運動療法②（野口 1月 7日）
22	全身状態低下に対する運動療法 ①（清水 1月12日）
23	感覚障害に対する運動療法の理論　①（野口 1月14日）
24	全身状態低下に対する運動療法 ②（清水 1月19日）
25	感覚障害に対する運動療法の理論　②（野口 1月21日）
26	まとめ（清水 1月26日）
27	感覚障害に対する運動療法の理論　③（野口 1月28日）
28	まとめ（清水 2月2日）
29	感覚障害に対する運動療法①②（野口 2月 4日）
30	まとめ（清水 2月9日）

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	物理療法	担当者名	岩田　芳典

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30	30		

授業概要	物理療法は、熱、水、電気、光、徒手などの物理的エネルギーを人体に用いる治療法であり、患部の疼痛の緩和、循環の改善、リラクセーションなどを目的としている。講義では物理的ｴﾈﾙｷﾞｰ(熱・水・持続的他動運動)と生体反応などに関して解説し、種々の物理療法機器の特性を理解できるように学ぶ。
成績評価	出席状況・講義への参加意欲・定期試験を総合的に判断する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	エビデンスから身につける物理療法	庄本康治	羊土社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション　物理療法学総論
2	炎症
3	組織修復
4	痛み　急性痛
5	痛み　慢性痛
6	温熱療法　総論
7	温熱療法　生理学的作用　適応と禁忌
8	温熱療法　ホットパック　パラフィン浴
9	温熱療法　超短波　極超短波（実技）
10	超音波　総論
11	超音波　生理学的作用　適応と禁忌（実技）
12	寒冷療法　総論
13	寒冷療法　生理学的作用　適応と禁忌
14	寒冷療法　伝導冷却法　気化冷却法　極低温療法
15	前半まとめ
16	

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	物理療法				担当者名	岩田　芳典					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30	30		

授業概要	物理療法は、熱、水、電気、光、徒手などの物理的エネルギーを人体に用いる治療法であり、患部の疼痛の緩和、循環の改善、リラクセーションなどを目的としている。講義では物理的ｴﾈﾙｷﾞｰ(超音波・牽引・光・電気)と生体反応などに関して解説し、種々の物理療法機器の特性を理解できるように学ぶ。
成績評価	出席状況・講義への参加意欲・定期試験を総合的に判断する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	エビデンスから身につける物理療法	庄本康治	羊土社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	光線療法　総論　生理学的作用
2	光線療法　適応と禁忌
3	光線療法　赤外線、紫外線、レーザー
4	水治療法　総論　生理学的作用
5	水治療法　適応と禁忌　渦流浴　プール浴
6	電気刺激療法　総論　生理学的作用
7	電気刺激療法　目的と効果　適応と禁忌
8	電気刺激療法　治療的電気刺激療法（実技）
9	電気刺激療法　経皮的末梢神経電気刺激療法　干渉波電気刺激療法　機能的電気刺激療法
10	牽引療法　総論　生理学的作用　適応と禁忌
11	牽引療法　頸椎牽引と腰椎牽引
12	持続的他動運動療法
13	振動療法
14	国家試験出題問題
15	まとめ
16	

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	義肢装具学					担当者名		遠藤　正英			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								60			

授業概要	義肢装具に関する基本的事項を学習し、特に装具の特性と構造を理解する。 義肢装具に関する基本的事項を学習し、特に装具の特性と構造を理解する。各切断レベルに対応する義足の適合判定と異常歩行を学習する。加えて断端管理法、義肢装着練習など切断リハビリテーションに関する知識を修得する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率，定期試験などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	義肢装具学　第2版	大峯三郎　橋元隆	神陵文庫
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	装具の定義について。装具療法の意義と基本的概念について。装具に関わる医療スタッフについて。理学療法士の役割について
2	装具の目的について。固定について。素材について。処方について。装具の分類について
3	上肢装具について。1）指装具　2）手関節装具　3）対立装具
4	上肢装具について。4）把持装具　5）肘装具　7）肩装具
5	下肢装具について。1）継手の位置、種類及び機能　2）支持部ついて。
6	下肢装具について。3）主な下肢装具の種類と対象疾患
7	下肢装具について。6）靴装具
8	体幹装具について　1）頸椎装具　2）頸胸椎装具　3）胸腰仙椎装具　4）腰仙椎装具　5）仙椎装具
9	装具の適合とチェックポイントについて。脳卒中片麻痺の装具について1）。
10	脳卒中片麻痺の装具について2）。
11	脊髄損傷の装具について理解できること1）。
12	脊髄損傷の装具について理解できること2）。
13	骨・関節疾患の装具について1）。
14	骨・関節疾患の装具について2）。
15	脳性麻痺の装具について。
16	側弯症の装具について。

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　　PT学科

授業科目名	義肢装具学				担当者名	遠藤　正英					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								60			

回数	授　業　計　画
17	切断の原因について。下肢切断の高位について。切断の手技と断端管理について。
18	切断の合併症と理学療法について。
19	仮義足と本義足について。義足の構造と構成要素について　*ソケットと継手の機能
20	1）ソケット a,股義足ソケット b,大腿義足ソケット c,膝義足ソケット d,下腿義足ソケット e,サイム義足ソケット
21	2)継手 a,股継手 b,膝継手 c,足部　3)その他のパーツ
22	義足の適合とアライメントおよびチェックアウト　1）下腿義足（ベンチアライメント・静的アライメント・動的アライメント）
23	義足の適合とアライメントおよびチェックアウト　2）大腿義足（ベンチアライメント・静的アライメント・動的アライメント）
24	2）大腿義足（ベンチアライメント・静的アライメント・動的アライメント）
25	2）大腿義足（ベンチアライメント・静的アライメント・動的アライメント）
26	義足の適合とアライメントおよびチェックアウト　3）股義足（ベンチアライメント・静的アライメント・動的アライメント）
27	高齢者切断者について
28	義肢装着前練習
29	義肢装着及び装着後練習
30	まとめ

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	各論理学療法Ⅰ				担当者名	中山　大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	神経系疾患における理学療法について、現在よく行われているいくつかの治療概念に触れ、その理論的背景について知る。また、評価と治療（脳血管障害・パーキンソン病）の進め方について学習する。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準理学療法学　神経理学療法学	吉尾雅春、森岡周	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	脳神経疾患理学療法の脳神経科学の重要性と脳神経科学の理学療法への応用
2	脳血管障害の病態と症候
3	画像所見（頭部CTの見方）①
4	画像所見（頭部MRIの見方）②
5	画像所見（頭部MRIの見方）③
6	画像所見（頭部MRIと理学療法評価・治療の統合）④
7	脳血管障害の理学療法（急性期）
8	脳血管障害の理学療法（回復期）
9	脳血管障害の理学療法（慢性期）
10	高次脳機能障害（身体失認、病態失認）
11	高次脳機能障害（半側空間無視）
12	高次脳機能障害（注意・遂行機能障害）
13	高次脳機能障害（失行）
14	高次脳機能障害（まとめ）
15	症例検討

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	各論理学療法Ⅱ				担当者名	中山　大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	神経系疾患における理学療法について、現在よく行われているいくつかの治療概念に触れ、その理論的背景について知る。また、評価と治療（脊髄小脳変性症）の進め方について学習する。またボバース法、ＰＮＦ法、ＣＩ療法、高次神経障害への理学療法、中枢疾患のリスク管理なそについて、どのようなエビデンスに基づいて行われているのか最新の知見を交えて学ぶ。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準理学療法学　神経理学療法学	吉尾雅春、森岡周	医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	中枢疾患のﾘｽｸ管理
2	運動麻痺の発生メカニズム
3	運動麻痺の理学療法評価
4	運動麻痺の理学療法の実際
5	感覚障害の神経機構と障害メカニズム
6	異常筋緊張（筋緊張の神経機構）
7	パーキンソン病の病態と症候
8	パーキンソン病の理学療法
9	脊髄小脳変性症の病態と症候
10	脊髄小脳変性症の理学療法
11	ＰＢＬ：変性疾患の評価と理学療法（パーキンソン病）
12	ＰＢＬ：変性疾患の評価と理学療法（脊髄小脳変性症）
13	ＰＢＬ：神経筋疾患の理学療法（筋萎縮性側索硬化症）
14	ＰＢＬ：神経筋疾患の理学療法（多発性硬化症）
15	ＰＢＬ：経筋疾患の理学療法（Guillain-Barre症候群）

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	各論理学療法Ⅲ				担当者名	近藤　直樹、阿部　光司、東　周平、進　貴臣					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	小児の運動機能障害が出現する代表的な疾患の症状の理解を踏まえ，その障害に特有な評価方法及び理学療法について学習する。
成績評価	試験よって評価する
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	小児理学療法学テキスト 改訂第３版	田原弘幸	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	発達障害系理学療法概論
2	脳性麻痺総論（定義，病型分類，麻痺部位，二次障害）
3	脳性麻痺の評価①
4	脳性麻痺の評価②
5	脳性麻痺各論（理学療法評価と治療/痙直型）
6	脳性麻痺各論（理学療法評価と治療/アテトーゼ型・失調）
7	テスト①
8	小児整形外科治療における理学療法
9	小児理学療法における装具・補装具
10	重症心身障害児（者）の理学療法
11	小児整形外科疾患の理学療法（二分脊椎等）
12	小児神経筋疾患の理学療法（筋ジストロフィー）
13	小児神経筋疾患の理学療法（脊髄性筋萎縮症）
14	症例検討①
15	症例検討②

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	各論理学療法Ⅳ				担当者名	森口　晃一					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	整形外科疾患に対する理学療法評価の基本をしっかり認識したのちに，骨軟骨障害や関節軟部組織障害ならびに関節構造に由来する障害に対する適切な理学療法の評価と治療を学習する.
成績評価	出席状況・授業への参加意欲や態度、提出物、定期試験を総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	運動器障害理学療法学テキスト	細田多穂（監）、高柳清美 他3名	南江堂
参考図書	標準整形外科学	松野丈夫、中村利孝	医学書院

回数	授　業　計　画
1	(1)整形外科疾患とは　(2)整形外科疾患と障害　(3)整形外科疾患と理学療法(評価と治療)
2	理学療法評価の流れ：(1)処方の吟味 (2)情報収集　(3)情報の分析・解釈・統合　(4)課題の抽出
3	理学療法評価の流れ：(5)目標設定 (6)理学療法プログラムの立案　(7)理学療法の実施　(8)再評価
4	理学療法評価での情報集収：(1)問診（既往歴・家族歴・職業歴・生活歴含め）　(2)視診/触診
5	理学療法評価での情報集収：(3)四肢長・周径　(4)ROM検査　(5)感覚検査　(6)反射検査
6	理学療法評価での情報集収：(7)筋力検査　(8)痛みの検査　(9)治療成績判定基準と機能評価法
7	骨・軟骨障害：(3)変形性膝関節症（保存療法）１に対する理学療法
8	骨・軟骨障害：(3)変形性膝関節症（保存療法）２に対する理学療法
9	中間試験とまとめ
10	骨・軟骨障害：(4)変形性膝関節症（手術療法）に対する理学療法
11	骨・軟骨障害：(5)変形性股関節症（保存療法）に対する理学療法
12	関節軟部組織性障害：(1)膝関節の靭帯損傷・半月板損傷の理解と理学療法①
13	関節軟部組織性障害：(2)膝関節の靭帯損傷・半月板損傷の理解と理学療法②
14	関節軟部組織性障害：(3)足関節の靭帯損傷の理解と理学療法①
15	関節軟部組織性障害：(4)足関節の靭帯損傷の理解と理学療法②

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	各論理学療法Ⅴ				担当者名	森口　晃一					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	各論理学療法4（整形）に引き続き，整形外科疾患に対する理学療法評価の基本を認識しながら，骨性障害や筋・軟部組織性障害，ならびに運動単位性障害や脊椎障害，複合障害に対する適切な理学療法の評価と治療を学習する.
成績評価	出席状況・授業への参加意欲や態度、提出物、定期試験を総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	運動器障害理学療法学テキスト	細田多穂（監）、高柳清美 他3名	南江堂
参考図書	標準整形外科学	標準整形外科学	医学書院

回数	授　業　計　画
1	骨性障害：(1)骨折総論と理学療法
2	骨性障害：(2)大腿骨頸部骨折，転子部骨折（術前・術後）に対する理学療法
3	骨性障害：(3)下肢骨折(大腿骨骨幹部・大腿骨遠位部・脛骨高原・膝蓋骨)に対する理学療法
4	骨性障害：(4)上肢骨折(上腕骨近位・上腕骨骨幹部・上腕遠位・コレス)に対する理学療法
5	骨性障害：(5)脊椎骨折（脱臼骨折・圧迫骨折）に対する理学療法
6	筋・軟部組織性障害：(1)テニス肘，野球肘，手根管症候群に対する理学療法
7	筋・軟部組織性障害：(2)肩関節周囲炎に対する理学療法
8	まとめ
9	筋・軟部組織性障害：(3)筋断裂・アキレス腱断裂標に対する理学療法
10	末梢神経障害：①橈骨神経麻痺　②尺骨神経麻痺　③正中神経麻痺　④腕神経麻痺　⑤腓骨神経麻痺に対する理学療法
11	脊椎性障害：頸椎椎間板ヘルニア，頸部脊柱管狭窄症に対する理学療法
12	脊椎性障害：急性腰痛・腰椎椎間板ヘルニア，腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法
13	複合障害：関節リウマチの理解と理学療法
14	症例検討（変形性関節症について）
15	症例検討（骨性障害について）

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	各論理学療法Ⅵ				担当者名	松田　大輔					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									15		

授業概要	頸髄・脊髄損傷による四肢麻痺および対麻痺者の受傷から社会復帰に至るまでのリハビリテーションの過程において，理学療法士のみならず他職種も含めた介入技術・知識について包括的に学習する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率，定期試験などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	脊髄損傷理学療法マニュアル	岩崎　洋	文光堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1.脊髄の原因 2.受傷機転 3.好発部位 4.搬送方法と注意点
2	5.診断
3	6.急性期の処置 7.脊髄の損傷範囲（臨床症候群）
4	8.随伴症状 9.合併症 10.脊髄障害高位表示法 11.脊髄障害のレベル診断 12.髄節と機能(上肢/下肢)13.筋と髄節の関連
5	14.特別な評価
6	15.理学療法評価 16.理学療法の実際 1）四肢麻痺のプロトコール 2）対麻痺のプロトコール
7	3）急性期の理学療法（0～6週）①ポジショニングと体位変換
8	②肺理学療法 ③他動運動と伸張運動 ④筋力維持と強化訓練
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	各論理学療法Ⅶ					担当者名		今村　啓太			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	呼吸器の機能、呼吸リハビリテーションの必要な病態、対象疾患について学ぶ。呼吸機能の評価、呼吸障害のリハビリテーションについて学ぶ。運動療法、在宅酸素療法について学ぶ。疾患別呼吸リハビリテーションについて学ぶ。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト　内部障害理学療法学　（呼吸）	玉木 彰（編集）	中山書店
参考図書	病気がみえる４呼吸器	医療情報科学研究所	メディックメディア

回数	授　業　計　画
1	呼吸リハビリテーション総論
2	呼吸器系の解剖学・運動学
3	呼吸器系の生理学
4	呼吸不全の病態と呼吸器疾患
5	呼吸障害の評価（医療面接とフィジカルアセスメント）
6	呼吸障害の評価（その他の評価法）
7	呼吸理学療法基本手技（コンディショニング）
8	呼吸理学療法基本手技（排痰法・排痰で用いる徒手的手技）　まとめ　中間試験
9	呼吸理学療法基本手技（呼吸困難改善の為の手技）
10	呼吸理学療法基本手技（運動療法）
11	酸素療法と呼吸理学療法
12	人工呼吸療法と呼吸理学療法
13	在宅酸素療法（目的、使用器具、ウィーニング）
14	疾患別呼吸理学療法（急性呼吸不全、慢性呼吸不全）
15	胸部画像の見方　喀痰の吸引

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	各論理学療法Ⅷ				担当者名	谷上　弘樹、大渡　凡人					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	循環器疾患の特徴・基礎にはじまり、理学療法を行う上での注意事項、実際の理学療法の進め方、運動療法の実際を学習する。それぞれの疾患において必要なスパイロメータや心電図の知識、リスク管理なども合わせて学ぶ。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	理学療法ゴールド・マスター・テキスト6内部障害系理学療法学		ﾒｼﾞｶﾙﾋﾞｭｰ
参考図書	病気がみえるvol.2循環器		医療情報科学

回数	授　業　計　画
1	循環器系の解剖・生理学　慢性心不全①（谷上）9月14日
2	慢性心不全②（谷上）9月28日
3	慢性心不全③（谷上）10月5日
4	循環器理学療法の評価「リスク層別化」（谷上）10月19日
5	循環器理学療法の評価「リスク層別化」（谷上）10月26日
6	循環器理学療法の実際（谷上）12月7日
7	循環器理学療法の実際（谷上）12月14日
8	運動はなぜ必要なのか? インターバルトレーニング　循環器疾患患者の社会復帰（谷上）12月21日
9	心電図の診かた（大渡）12月23日
10	心電図の診かた（大渡）1月8日
11	虚血性心疾患の病態・検査と治療（大渡）1月13日
12	虚血性心疾患の病態・検査と治療（大渡）1月22日
13	心臓弁膜症と大動脈疾患の病態・検査と治療（大渡）1月27日
14	心臓弁膜症と大動脈疾患の病態・検査と治療（大渡）2月1日
15	心臓弁膜症と大動脈疾患の病態・検査と治療（大渡）2月10日

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	各論理学療法Ⅸ					担当者名		谷上　弘樹			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	代謝機能の特徴・基礎にはじまり、理学療法を行う上での注意事項、実際の理学療法の進め方、運動療法の実際を学習する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率，定期試験などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト6内部障害系理学療法学	柳澤 健	ﾒｼﾞｶﾙﾋﾞｭｰ
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1.エネルギー代謝と栄養-1）身体活動に必要なエネルギー源
2	2）エネルギー供給系とは 3）運動時間とエネルギー供給系の関係4）ATP産生の原料となる栄養基質と代謝
3	5）エネルギー代謝の測定方法 6）基礎代謝とは 7）運動と栄養代謝 8）脂質の働き 9）タンパク質の働き
4	2.運動耐容能とその評価-1）運動耐容能とは　2）運動時のエネルギー代謝
5	3）エネルギー供給のための酸素運搬　4）酸素摂取量を尺度とした運動耐容能の評価　5）運動耐容能の評価法
6	6）酸素摂取量を用いた運動処方　7）心肺運動療法負荷試験によって得られる指標の意義
7	3.糖尿病の病態・検査と治療-1）日本での糖尿病の疫学　2）糖尿病の病態と分類
8	3.糖尿病の病態　3）糖尿病の診断　4）糖尿病の治療　6）その他の糖尿病
9	4.糖尿病の合併症と治療-1）糖尿病合併症とは
10	2）急性合併症 3）慢性合併症
11	4）１・２型糖尿病で増えている糖尿病昏睡 5）高血糖による細胞障害とポリオール経路の関係
12	5.糖尿病に対する理学療法の実際-1
13	糖尿病における運動療法の位置づけ 2）糖尿病患者における運動療法の効果
14	3）運動療法の適応と禁忌 4）運動療法の種類と方法
15	5）糖尿病治療における理学療法士の役割 6）糖尿病は自己管理が基本！ 7）糖尿病の治療をサポートする専門職および組織

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合理学療法	担当者名	永野　忍

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2	2		授業時間数					120	

授業概要	理学療法・作業療法についての知識・技能の学習の総決算である臨床実習に向けての準備として、評価・治療計画・治療という一連の理学療法・作業療法過程を演習及び実技という形で実施。また、その際に必要な記録・報告ができるよう準備する。また、医療専門職として責任ある態度・行動を取れるようになることを目的とする。
成績評価	評価の基準：臨床実習に向けて情意・認知面が整っていること。 評価の方法：臨床実習に向けてチェックシートや臨床経験報告書を活用して評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	臨床実習指導要綱		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	保険・医療・福祉領域における理学療法士の役割と責任について
2	理学療法士としての義務、倫理について
3	理学療法士としての学識、技術、態度について
4	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施①
5	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施②
6	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施③
7	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施④
8	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑤
9	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑥
10	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑦
11	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑧
12	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑨
13	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑩
14	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑪
15	仮想事例を提示した評価項目の検討及び実施⑫

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合理学療法	担当者名	永野　忍

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2	2		授業時間数					120	

授業概要	理学療法・作業療法についての知識・技能の学習の総決算である臨床実習に向けての準備として、評価・治療計画・治療という一連の理学療法・作業療法過程を演習及び実技という形で実施。また、その際に必要な記録・報告ができるよう準備する。また、医療専門職として責任ある態度・行動を取れるようになることを目的とする。
成績評価	評価の基準：臨床実習に向けて情意・認知面が整っていること。 評価の方法：臨床実習に向けてチェックシートや臨床経験報告書を活用して評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	臨床実習指導要綱		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	仮想事例を提示した臨床推論①
2	仮想事例を提示した臨床推論②
3	仮想事例を提示した臨床推論③
4	仮想事例を提示した臨床推論④
5	仮想事例を提示した臨床推論⑤
6	グループワークでの臨床推論の発表及びディスカッション①
7	グループワークでの臨床推論の発表及びディスカッション②
8	グループワークでの臨床推論の発表及びディスカッション③
9	グループワークでの臨床推論の発表及びディスカッション④
10	グループワークでの臨床推論の発表及びディスカッション⑤
11	文献抄読、レポート作成、レジュメ作成の方法①
12	文献抄読、レポート作成、レジュメ作成の方法②
13	文献抄読、レポート作成、レジュメ作成の方法③
14	文献抄読、レポート作成、レジュメ作成の方法④
15	文献抄読、レポート作成、レジュメ作成の方法⑤

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合理学療法	担当者名	永野　忍

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2	2		授業時間数					120	

授業概要	理学療法・作業療法についての知識・技能の学習の総決算である臨床実習に向けての準備として、評価・治療計画・治療という一連の理学療法・作業療法過程を演習及び実技という形で実施。また、その際に必要な記録・報告ができるよう準備する。また、医療専門職として責任ある態度・行動を取れるようになることを目的とする。
成績評価	評価の基準：臨床実習に向けて情意・認知面が整っていること。 評価の方法：臨床実習に向けてチェックシートや臨床経験報告書を活用して評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	臨床実習指導要綱		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	仮想事例の治療に対する臨床推論①
2	仮想事例の治療に対する臨床推論②
3	仮想事例の治療に対する臨床推論③
4	仮想事例の治療に対する臨床推論④
5	仮想事例の治療に対する臨床推論⑤
6	仮想事例の治療に対する臨床推論⑥
7	仮想事例の治療に対する臨床推論⑦
8	仮想事例の治療に対する臨床推論⑧
9	仮想事例の治療に対する臨床推論⑨
10	仮想事例の治療に対する臨床推論⑩
11	仮想事例の治療に対する臨床推論⑪
12	仮想事例の治療に対する臨床推論⑫
13	仮想事例の治療に対する臨床推論⑬
14	仮想事例の治療に対する臨床推論⑭
15	仮想事例の治療に対する臨床推論⑮

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合理学療法	担当者名	永野　忍

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2	2		授業時間数					120	

授業概要	理学療法・作業療法についての知識・技能の学習の総決算である臨床実習に向けての準備として、評価・治療計画・治療という一連の理学療法・作業療法過程を演習及び実技という形で実施。また、その際に必要な記録・報告ができるよう準備する。また、医療専門職として責任ある態度・行動を取れるようになることを目的とする。
成績評価	評価の基準：臨床実習に向けて情意・認知面が整っていること。 評価の方法：臨床実習に向けてチェックシートや臨床経験報告書を活用して評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	臨床実習指導要綱		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	仮想事例に対する治療の実施①（ワークショップ）
2	仮想事例に対する治療の実施②（ワークショップ）
3	仮想事例に対する治療の実施③（ワークショップ）
4	仮想事例に対する治療の実施④（ワークショップ）
5	仮想事例に対する治療の実施⑤（ワークショップ）
6	仮想事例に対する治療の実施⑥（ワークショップ）
7	仮想事例に対する治療の実施⑦（ワークショップ）
8	仮想事例に対する治療の実施⑧（ワークショップ）
9	仮想事例に対する治療の実施⑨（ワークショップ）
10	仮想事例に対する治療の実施⑩（ワークショップ）
11	仮想事例に対する治療の実施⑪（ワークショップ）
12	仮想事例に対する治療の実施⑫（ワークショップ）
13	仮想事例に対する治療の実施⑬（ワークショップ）
14	仮想事例に対する治療の実施⑭（ワークショップ）
15	仮想事例に対する治療の実施⑮（ワークショップ）

九州医療スポーツ専門学校

2022年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎医学演習	担当者名	中山大貴

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						60

授業概要	これまでに学習してきた知識（基礎医学）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2020専門基礎分野基礎医学	白石泰夫	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	植物機能　循環器
2	植物機能　消化器　泌尿器
3	植物機能　体温と代謝　呼吸器
4	植物機能　内分泌器
5	植物機能　自律神経　その他
6	動物機能　末梢神経
7	動物機能　中枢神経
8	動物機能　神経生理
9	動物機能　筋　伝導路
10	動物機能　感覚　細胞　その他
11	運動機能学　筋
12	運動機能学　基礎運動学
13	運動機能学　体表解剖　関節　骨
14	運動機能学　バイオメカニクス　運動学習
15	人間発達学　発達月齢　反射・反応

九州医療スポーツ専門学校

2022年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎医学演習					担当者名	中山大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60

授業概要	これまでに学習してきた知識（基礎医学）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2020専門基礎分野基礎医学	白石泰夫	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	植物機能　循環器　復習
2	植物機能　消化器　泌尿器　復習
3	植物機能　体温と代謝　呼吸器　復習
4	植物機能　内分泌器　復習
5	植物機能　自律神経　その他　復習
6	動物機能　末梢神経　復習
7	動物機能　中枢神経　復習
8	動物機能　神経生理　復習
9	動物機能　筋　伝導路　復習
10	動物機能　感覚　細胞　その他　復習
11	運動機能学　筋　復習
12	運動機能学　基礎運動学　復習
13	運動機能学　体表解剖　関節　骨　復習
14	運動機能学　バイオメカニクス　運動学習　復習
15	人間発達学　発達月齢　反射・反応　復習

九州医療スポーツ専門学校

2022年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床医学演習				担当者名	中山大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60

授業概要	これまでに学習してきた知識（臨床医学）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価、学習意欲、学習態度、出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2020専門基礎分野臨床医学	白石泰夫	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	病理学　薬理学
2	病理学　感染症
3	病理学　腫瘍
4	病理学　アレルギー
5	病理学　その他
6	内科学　循環器疾患　消化器疾患　呼吸器疾患
7	内科学　高齢者疾患　脳性麻痺　代謝性疾患　その他
8	老年医学
9	小児科学
10	整形外科学
11	神経内科学
12	臨床心理学
13	精神医学
14	リハビリテーション医学
15	リハビリテーション概論

九州医療スポーツ専門学校

2022年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床医学演習				担当者名	中山大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60

授業概要	これまでに学習してきた知識（臨床医学）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価、学習意欲、学習態度、出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2020専門基礎分野臨床医学	白石泰夫	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	病理学　薬理学　復習
2	病理学　感染症　復習
3	病理学　腫瘍　復習
4	病理学　アレルギー　復習
5	病理学　その他　復習
6	内科学　循環器疾患　消化器疾患　呼吸器疾患　復習
7	内科学　高齢者疾患　脳性麻痺　代謝性疾患　その他　復習
8	老年医学　復習
9	小児科学　復習
10	整形外科学　復習
11	神経内科学　復習
12	臨床心理学　復習
13	精神医学　復習
14	リハビリテーション医学　復習
15	リハビリテーション概論　復習

九州医療スポーツ専門学校

2022年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎理学療法演習				担当者名	中山大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60

授業概要	これまでに学習してきた知識（基礎理学療法）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2020基礎PT学	白石泰夫	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	基礎理学療法学　臨床運動学
2	基礎理学療法学　基調
3	基礎理学療法学　法律・制度　その他
4	理学療法評価学　徒手筋力テスト
5	理学療法評価学　関節可動域検査
6	理学療法評価学　整形外科テスト
7	理学療法評価学　バランス機能
8	理学療法評価学　運動系評価
9	理学療法評価学　発達検査
10	理学療法評価学　日常生活活動検査　その他
11	理学療法治療学　補装具療法
12	理学療法治療学　補装具療法
13	理学療法治療学　運動療法
14	理学療法治療学　物理療法
15	理学療法治療学　運動学習・住環境整備

九州医療スポーツ専門学校

2022年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎理学療法演習				担当者名	中山大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60

授業概要	これまでに学習してきた知識（基礎理学療法）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2020基礎PT学	白石泰夫	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	基礎理学療法学　臨床運動学　復習
2	基礎理学療法学　基調　復習
3	基礎理学療法学　法律・制度　その他　復習
4	理学療法評価学　徒手筋力テスト　復習
5	理学療法評価学　関節可動域検査　復習
6	理学療法評価学　整形外科テスト　復習
7	理学療法評価学　バランス機能　復習
8	理学療法評価学　運動系評価　復習
9	理学療法評価学　発達検査　復習
10	理学療法評価学　日常生活活動検査　その他　復習
11	理学療法治療学　補装具療法　復習
12	理学療法治療学　補装具療法　復習
13	理学療法治療学　運動療法　復習
14	理学療法治療学　物理療法　復習
15	理学療法治療学　運動学習・住環境整備　復習

九州医療スポーツ専門学校

2022年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床理学療法演習	担当者名	中山大貴

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60

授業概要	これまでに学習してきた知識（臨床理学療法）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2020	白石泰夫	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	理学療法治療学　中枢神経障害（脳血管障害）
2	理学療法治療学　中枢神経障害（脊髄損傷）
3	理学療法治療学　中枢神経障害（パーキンソン病）
4	理学療法治療学　中枢神経障害（その他）
5	理学療法治療学　内部障害（循環器障害）
6	理学療法治療学　内部障害（呼吸器障害）
7	理学療法治療学　内部障害（代謝障害　その他）
8	理学療法治療学　骨関節障害（上肢・下肢・体幹の骨関節障害）
9	理学療法治療学　骨関節障害（関節リウマチ・靭帯損傷・切断・スポーツ外傷・その他）
10	理学療法治療学　神経筋障害
11	理学療法治療学　発達障害
12	理学療法治療学
13	理学療法治療学　その他の障害
14	地域理学療法学
15	臨床実習

九州医療スポーツ専門学校

2022年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床理学療法演習				担当者名	中山大貴					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											60

授業概要	これまでに学習してきた知識（臨床理学療法）を整理する。グループ学習などを積極的に取り入れ、幅広い知識を共有することを目指す。
成績評価	普段の授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	PT/OT国家試験必修ポイント2020	白石泰夫	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	理学療法治療学　中枢神経障害（脳血管障害）　復習
2	理学療法治療学　中枢神経障害（脊髄損傷）　復習
3	理学療法治療学　中枢神経障害（パーキンソン病）　復習
4	理学療法治療学　中枢神経障害（その他）　復習
5	理学療法治療学　内部障害（循環器障害）　復習
6	理学療法治療学　内部障害（呼吸器障害）　復習
7	理学療法治療学　内部障害（代謝障害　その他）　復習
8	理学療法治療学　骨関節障害（上肢・下肢・体幹の骨関節障害）　復習
9	理学療法治療学　骨関節障害（関節リウマチ・靭帯損傷・切断・スポーツ外傷・その他）　復習
10	理学療法治療学　神経筋障害　復習
11	理学療法治療学　発達障害　復習
12	理学療法治療学　復習
13	理学療法治療学　その他の障害　復習
14	地域理学療法学　復習
15	臨床実習　復習

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	スポーツリハビリテーション	担当者名	宮薗　彩香

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									15		

授業概要	個々のスポーツを「走る」「飛ぶ」「投げる」の機能運動面から捉え、各々の場面で起こる種目別スポーツ障害の特長を整理し、応急処置（アイシング・包帯固定法）や予防（テーピング・足底板）の実際アプローチなどを学習する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	特になし		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	長崎街道歴史発見ウォーク（地域スポーツ交流）
2	スポーツリハビリテーション 総論
3	スポーツ外傷①：応急処置、筋のスポーツ外傷
4	スポーツ外傷②：各部のスポーツ外傷
5	スポーツ障害①疲労骨折
6	スポーツ障害②：骨端症
7	スポーツ障害③：上肢のスポーツ障害
8	スポーツ障害④：下肢のスポーツ障害 障害者スポーツ

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	地域理学療法学				担当者名	籾井　剛士					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	地域を基盤として行われる理学療法士による専門的支援の知識・技術について習得する。家庭訪問による訪問リハビリテーションサービスや，施設における入所，通所リハビリテーションサービスに携わる理学療法士に必要な知識・技術・実施方法を学ぶ。地域理学療法を実践する専門家としての基本的姿勢・態度についても習得する。
成績評価	ふだんの授業で出す課題の内容評価，学習意欲，学習態度，出席率などによって総合的に評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	標準理学療法学　専門分野　地域理学療法学		医学書院
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	地域リハビリテーションとは
2	地域リハビリテーション活動の基本
3	在宅リハビリテーションと病院内リハビリテーションの考え方
4	地域リハビリテーション活動の時代的流れ
5	制度にみられる地域リハビリテーション
6	機能訓練事業の今後と展開
7	介護保険法と介護予防
8	介護予防の手法とリハビリテーション医療
9	【中間試験】　退院後のリハビリテーション
10	尊厳あるケアの確立に向けて
11	介護期・終末期のリハビリテーション
12	地域リハビリテーションに関わること
13	諸外国の地域リハビリテーション
14	これからの地域リハビリテーション
15	地域包括ケアシステムについて

九州医療スポーツ専門学校

2021年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	生活環境論	担当者名	永野　忍

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数			15			

授業概要	リハビリテーションに関わる生活環境を、患者（利用者）を取り巻く生活地域に視点をおいて考える。
成績評価	試験により評価する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	生活環境論		神陵文庫
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	生活環境学とは
2	生活環境整備の留意点（障害別によるADL上の障害と自己）
3	関節可動域と日常生活活動
4	バリアフリーの関連諸制度
5	住環境についての考え方①
6	住環境についての考え方②
7	住環境についての諸制度
8	福祉用具について・住宅構造例について
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

九州医療スポーツ専門学校

令和 2年度　　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	見学実習					担当者名		松田　大輔			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							40				

授業概要	地域理学療法の場面での経験を通して，地域包括ケアシステム（特に，通所リハビリテーション，訪問リハビリテーション）における理学療法士の役割を理解し，地域包括ケアシステムに関与する関連専門職の役割を理解する。
成績評価	見学実習前後の評価及び臨床実習指導者の評価などで総合的に判断する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	通所・訪問リハビリテーション施設における理学療法士の役割りと機能① （対象者（障害者及び高齢者）に対する理学療法士における実践の見学）
2	通所・訪問リハビリテーション施設における理学療法士の役割りと機能② （対象者（障害者及び高齢者）に対する理学療法士における実践の見学）
3	通所・訪問リハビリテーション施設における理学療法士の役割りと機能③ （対象者（障害者及び高齢者）に対する理学療法士における実践の見学）
4	通所・訪問リハビリテーション施設における理学療法士の役割りと機能④ （対象者（障害者及び高齢者）に対する理学療法士における実践の見学）
5	対象者とのコミュニケーション技術について①
6	対象者とのコミュニケーション技術について②
7	対象者とのコミュニケーション技術について③
8	対象者とのコミュニケーション技術について④
9	地域における通所・訪問リハビリテーションの役割り① 対象者のニーズの把握
10	地域における通所・訪問リハビリテーションの役割り② 対象者のニーズの把握
11	地域における通所・訪問リハビリテーションの役割り③ 対象者のニーズの把握
12	地域における通所・訪問リハビリテーションの役割り④ 対象者のニーズの把握
13	対象者との関わり（理学療法士としての関わりの実践）①
14	対象者との関わり（理学療法士としての関わりの実践）②
15	対象者との関わり（理学療法士としての関わりの実践）③
16	対象者との関わり（理学療法士としての関わりの実践）④

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 2年度　PT学科

授業科目名	見学実習					担当者名		松田　大輔			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							40				

回数	授　業　計　画
17	地域における理学療法士の役割り①
18	地域における理学療法士の役割り②
19	地域における理学療法士の役割り③
20	地域における理学療法士の役割り④
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	

九州医療スポーツ専門学校

2021年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	評価実習	担当者名	今村啓太

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				4	授業時間数				160		

授業概要	２年次までに学んだ理学療法・作業療法の検査を適切に実施でき、その結果の解釈を中心に、実習指導者の指導を仰ぎながら実際の患者にそれを応用し、実際の知識技術として体得する。また、検査測定技術のみにとらわれすぎるのではなく、評価を通して、全体としての患者像を理解できるようにする。
成績評価	評価の基準：臨床実習に必要な資質や知識，マナーを身につける。 評価の方法：臨床実習指導者の評価などで総合的に判断する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	実習指導要綱参照
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

九州医療スポーツ専門学校

2022年度　PT学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合臨床実習	担当者名	中山　大貴

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				18	授業時間数					720	

授業概要	理学療法・作業療法についての知識・技能の学習の総決算として、実習指導者の指導のもとにこれらを応用し、評価・治療計画・治療・効果判定という一連の理学療法・作業療法過程を実施し、ならびにそのために必要な記録・報告ができるようにする。また、理学療法・作業療法部門の管理・運営に関する基本的事項についての自分の意見を持ち、医療専門職として責任ある態度・行動を取れるようになることを目的とする。
成績評価	評価の基準：臨床実習に必要な資質や知識，マナーを身につける。 評価の方法：臨床実習指導者の評価などで総合的に判断する。
その他	有（病院勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	臨床実習指導要綱参照
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	